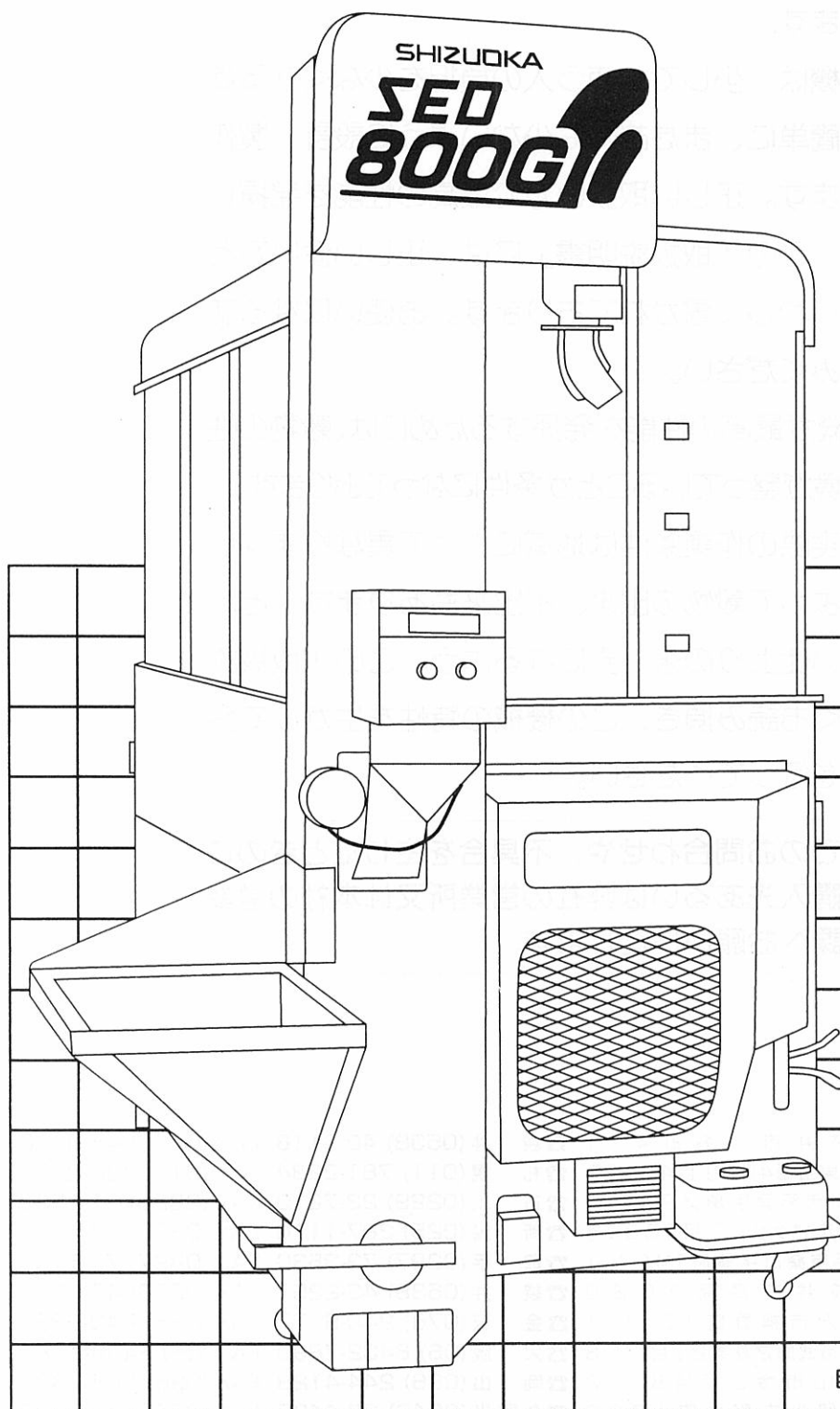


シヅカ

ちび乾 **エコート** SED-800G

シヅカ超小型循環乾燥機
(米麦用乾燥機)

■取扱説明書



安全鑑定番号 17061

自動水分計コメント-Sは別売

静岡製機株式会社

は じ め に

このたびは **ジツオカ超小型循環乾燥機** エコード**SED-800G**をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この乾燥機は、少しでも使う人の負担を少なくするため取扱いも簡単に、また故障も少ないように設計、製作されております。正しい取扱い方で最高の性能を発揮して頂くため、この「取扱説明書」には、正しい使い方と注意事項がくわしく書かれております。お使いになる前に必ずお読みください。

この乾燥機が最高の性能を発揮するためには、穀物の性状や作業環境が整っていることが条件になっております。

しかし、実際の作業条件は地域によって異なりますし、また、年によって穀物の出来、不出来もあります。どんな時にも良い仕上りの米、麦になるよう、この「取扱説明書」を良くお読み頂き、この機械の特性を生かして合理的な作業を行ってください。

機械についてのお問い合わせや、不具合を生じたときのご連絡は、ご購入先あるいは弊社の営業所又は本社の営業部営業推進課へお願いいたします。

本 社	〒437-8601 静岡県袋井市山名町4-1	☎袋井	(0538) 42-3116	FAX.(0538) 45-0316
札幌営業所	〒007-0804 札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号	☎札幌	(011) 781-2234	FAX.(011) 780-2273
仙台営業所	〒989-6135 宮城県古川市稲葉字亀ノ子50-1	☎古川	(0229) 23-7210	FAX.(0229) 21-1330
新潟営業所	〒950-0923 新潟県新潟市姥ヶ山1丁目5番30号	☎新潟	(025) 287-1110	FAX.(025) 257-1197
関東営業所	〒302-0017 茨城県取手市桑原字桑原1424-1	☎取手	(0297) 73-3530	FAX.(0297) 70-1137
中部営業所	〒437-0023 静岡県袋井市高尾2630	☎袋井	(0538) 43-2251	FAX.(0538) 45-0310
北陸営業所	〒920-0365 石川県金沢市神野町10-1-1	☎金沢	(076) 249-6177	FAX.(076) 240-9333
大阪営業所	〒661-0032 兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10-8	☎大阪	(06) 6432-7890	FAX.(06) 6434-2184
岡山営業所	〒700-0975 岡山県岡山市今2丁目8-12	☎岡山	(086) 244-4123	FAX.(086) 244-9300
九州営業所	〒839-0862 福岡県久留米市野中町1332	☎久留米	(0942) 32-4495	FAX.(0942) 31-7373

も く じ

1. 安全について.....	ページ 2
2. 主要諸元.....	8
3. 全体図と各部のなまえ.....	9
4. 運転前の準備と確認.....	10
(1)設置場所 (2)電気関係 (3)燃料関係 (4)試運転	
5. 張込作業.....	14
6. 乾燥作業.....	15
7. 排出作業.....	19
8. 火災予防上の注意.....	20
●安全チェック	
9. 保守と点検.....	22
●手入箇所と手入方法	
10. シーズン前の運転準備.....	24
(1)本機の点検(プーリとVベルト) (2)昇降機バケットベルトの調節	
(3)フラッチ関係 (4)燃焼関係 (5)バーナの点検・掃除(バーナ分解手順)	
11. 便利な別売部品(オプション).....	28
12. 故障とその処置.....	29
(1)安全装置のはたらきと定格	
(2)表示がH・L・E7となる場合	
(3)電気・モータ関係	
(4)バーナ(熱風器)関係	
(5)乾燥関係	
13. 各部の接続と定格.....	34
●モータとセンサ類の接続図 ●モータの定格 ●サーマルリレー電流設定値	
●ヒューズ定格 ●サーマルリレーの復帰 ●電源ヒューズの交換	
●回路図	
14. 据付寸法図.....	36
●機体寸法	
■保証書・修理履歴控・有料点検履歴控.....	37
部品の供給年限について	

1.安全について

(1)警告用語の種類と意味

機械本体に貼付してある警告表示ラベルは、危険の度合に従って次の3段階に分けています。

この警告用語の意味を理解していただき、取扱説明書の内容に従って、運転操作・保守・点検を行ってください。

警告用語	意 味
 危 険	〔危険〕の文字の下に書かれている事柄は、その内容を守らないと重大なケガ・火災事故につながることもあり、最もご注意ください内容です。
 警 告	〔警告〕の文字の下に書かれている事柄は、その内容を守らないとケガ・巻き込みなどの事故につながることもあり、十分ご注意ください内容です。
 注 意	〔注意〕の文字の下に書かれている事柄は、その内容を守らないとケガ・裂傷などの事故につながることもあり、ご注意ください内容です。



警 告

- この機械の運転操作、保守、点検は、必ずこの取扱説明書に従って行ってください。
- 取扱説明書の内容で不明な点がありましたら、購入先あるいは、弊社の営業所または本社営業部にお問合せ、確認してから作業を始めてください。

(2)安全事項

乾燥機の運転および燃料取扱等においては安全を守ってください。



警告

■安全な運転と取扱い

- 乾燥機の運転は健康な状態で行ってください。熱がある・フラフラするなど、過労や病気の状態での作業は危険です。
- 服装は軽快な行動しやすいものを着用してください。乱れた服装は巻き込み・転倒などケガをすることがあります。
- 若年者や機械使用に不案内の人には運転させないでください。



注意

■作業場の整理整頓

- 乾燥作業する周辺は清掃し、燃えやすいものは置かないでください。
- 電源コード類は必要な長さとし、作業時に踏まれないようにしてください。
- 作業場はできるだけ窓を開け通気をよくしてください。



危険

■燃料の給油・保管

- 燃料は新しいJIS1号灯油を使用し、運転前に給油してください。
- 給油中は火気厳禁としてください。タバコにもご注意ください。
- 周辺にこぼれた油は拭き取ってください。
- 予備の燃料はフタをしっかり締めて日陰に保管してください。
- 誤って別の燃料を入れた時はすみやかにタンク内の油を入れ換えてください。



警告

■運転中の安全

- 運転中の無人運転は避けてください。
- 運転中は若年者や作業に関わらない人は乾燥機に近づけないでください。
- 運転中は点検用窓フタやカバー類は外さないでください。
- 運転中の燃料の補給は危険ですので行わないでください。やむを得ず補給する場合は、一旦運転停止してから行うようにしてください。



注意

■点検・調整・整備の安全

- 運転の前・後の点検、調整、整備については本書「保守と点検」、「シーズン前の運転準備」の項を参考に行ってください。
- はしごにのぼって点検する場合は、はしごを確実にかけ、転落に十分注意してください。
- 作業時はヘルメット、手袋、安全靴を着用してください。必ず、電源を切ってから行ってください。

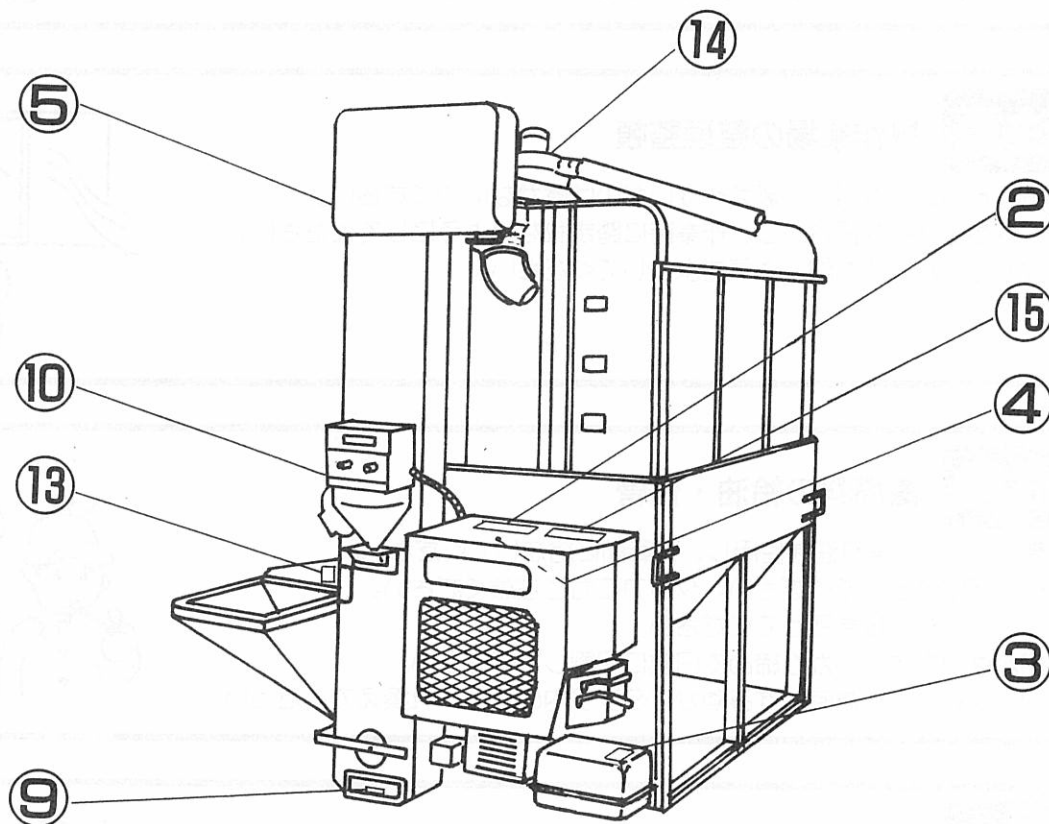


(3)警告表示ラベルについて

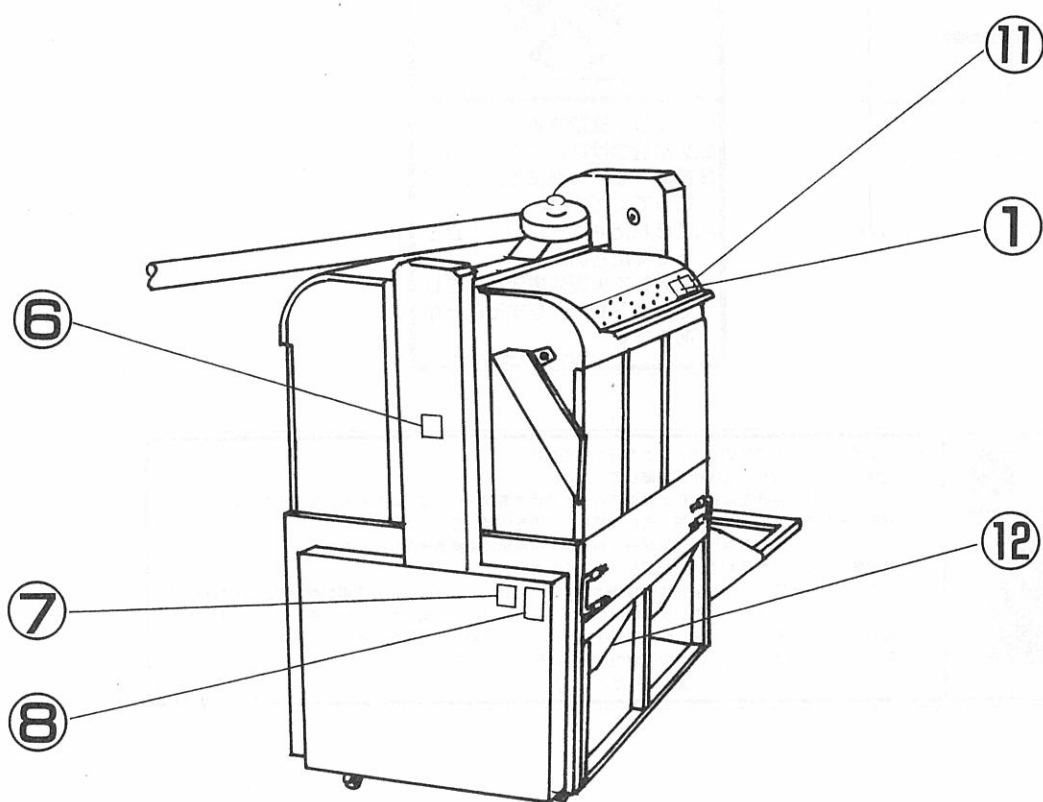
機械の特に注意を要する箇所に警告表示ラベルが貼ってあります。これらの位置と内容をよく確認し、守って安全作業を行ってください。

警告表示ラベルの貼付位置

警告表示ラベルの貼付位置を次に示します。



図面表示番号	標識	名 称	貼 付 位 置	品 番
1	危険	屋根落下危険ラベル	屋根	00087-200101
2	危険	火災危険ラベル	熱風器カバー	00087-200103
3	危険	引火危険ラベル	燃料タンク	00087-200104
4	警告	感電警告ラベル	コントロールボックス	00308-200101
5	注意	ベルト巻込注意ラベル	昇降機上カバー	00087-200108
6			上軸ベルトカバー	
7			下段後カバー	



図面表示番号	標識	名 称	貼 付 位 置	品 番
8	注意	チェーン巻込注意ラベル	下段後カバー	00087-200109
9	注意	バケット巻込注意ラベル(小)	昇降機掃除口フタ	00087-200111
10			点検窓フタ付近	
11	注意	スクリュ巻込注意ラベル	屋根	00087-200113
12	注意	スクリュ巻込注意ラベル(小)	下部スクリュ樋付近	00087-200114
13	注意	ホツパバケット巻込注意ラベル	張込ホツパ	00097-200102
14	注意	回転羽根巻込注意ラベル	排塵機点検口フタ	00087-200117
15	注意	取扱説明書注意ラベル	熱風器カバー	00087-200118

(4)警告表示ラベルの内容

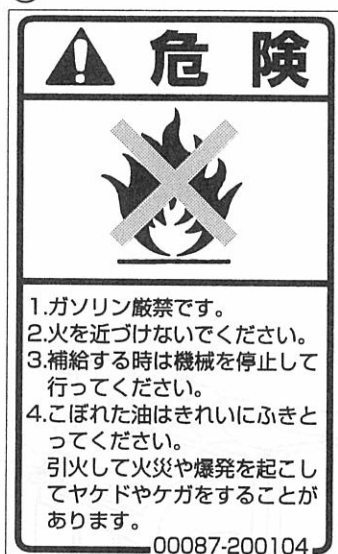
警告表示ラベルの内容は次の通りです。

警告表示ラベルが汚れ、破れなどで見にくくなったときは新しいラベルに貼替えてください。ラベルは購入先へ注文してください。

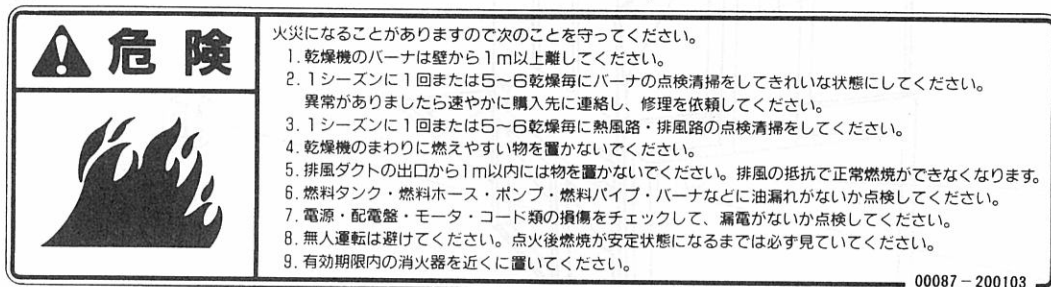
①



③



②

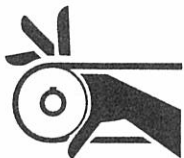


④



⑤⑥⑦

注意



運転中にカバーを開けないでください。駆動しているベルトに巻き込まれてケガをすることがあります。点検後はカバーを必ず元通りに取付けてください。

00087-200108

⑪

注意



運転中にカバーを開けないでください。スクリュの回転部に巻き込まれてケガをすることがあります。

00087-200113

⑧

注意



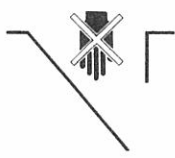
運転中にカバーを開けないでください。駆動しているチェーンに巻き込まれてケガをすることがあります。

00087-200109

ときどきカバー内側のチェーンやスプロケット軸部に注油してください。

⑬

注意



ホッパの奥に手をいれないでください。バケットに巻き込まれケガをすることがあります。張込時以外はシャッタを開けないでください。

00097-200102

⑭

注意



ダクトを外したまま運転しないでください。回転羽根に巻き込まれてケガをすることがあります。

00087-200117

⑨⑩

注意



駆動しているバケットに巻き込まれてケガをすることがあります。点検後はカバーを必ず元通りに取付けてください。

00087-200111

⑫

注意



運転中にカバーを開けないでください。スクリュの回転部に巻き込まれてケガをすることがあります。

00087-200114

⑮

注意



乾燥機を運転・点検するときには、安全のため次の注意点を守ってください。

1. 必ず取扱説明書をよくお読みください。
2. 乾燥機を運転するときは、周囲の安全を確認してください。
3. 運転前には必ず点検や整備をしてください。
4. 点検・整備をするときには、必ず元電源を切ってから行ってください。
5. バーナーの点検・整備は、バーナーが冷えてから行ってください。
6. 点検・整備で取りはずしたカバー類は、必ず元通りに取り付けてください。
7. 点火後は正常に燃えているか必ず確認してください。
8. 長期格納するときは、元電源を切っておいてください。
9. ねずみが入らないように、カバー・シャッタ・フタなどを正しく付けてください。
10. 燃焼器、サーモスタットは必ず正規の部品を使用してください。改造しないでください。

00087-200118

2. 主要諸元

農業機械公正取引協議会規約による。

型 式 名			シゾオカSED-800G
区 分			GF(自動水分計付)
穀物の種類と処理量	粳 (kg)	560kg/m³	280～780
	小麦(kg)	680kg/m³	340～950
機体寸法	全 長(mm)		2320
	全 幅(mm)		1330
	全 高(mm)		2065
質 量 (重 量)(kg)			280
送風機	型 式 名		シゾオカFH-33
	種 類		軸流式(圧送)
	常用回転速度(r.p.m.)		1900
火炉	型 式 名		シゾオカN3-SED
	種 類		ガンタイプ
	点 火 方 法		自動(放電点火)
	燃 焼 量(ℓ/時)		0.3～1.4
使 用 燃 料			JIS 1号灯油
燃 料 タ ン ク 容 量(ℓ)			17
所 要 動 力	定 格 出 力	定 格 電 圧(V)	単相100V・単相200V
		循 環(kW)	—
		送 風 機(kW)	—
		搬 送 系(kW)	単相100V・200V兼用0.55
		横 送 装 置(kW)	—
		排 塵 機(kW)	単相100V・200V兼用0.06
		別売自動水分計	単相200V 0.045
		コントローラ(kW)	0.1
	別売排出スロワ(kW)	—	
最大同時使用電力(kW)			0.71(別売自動水分計使用時0.755)
性 能	張込時間	粳 (分)	22
		小麦 (分)	29
	排出時間	粳 (分)	24
		小麦 (分)	24
	毎時乾減率	粳 (%/時)	0.7～0.9
		小麦(%/時)	0.9～1.2
諸 装 置	安 全 装 置		●サーマルリレー●粳づまりセンサ●ヒューズ●サーモスタット ●風圧スイッチ●炎センサ●タイマ●消火器
	運 転 制 御 方 式		自動温度制御(サーミスタ検知によるON-OFF制御)
	そ の 他	標準装備品	●昇降機張込ホツパ●排塵機●燃料タンク●本機モータ
		別売部品	●自動水分計(SED-800GCFは標準装備)●排出スロワ ●搬送機 (28ページ参照)
安 全 鑑 定 番 号			17061

※乾減率は粳の場合24%のものを14.5%まで乾燥したときのものです。

※乾減率は小麦の場合30%のものを12.5%まで乾燥したときのものです。

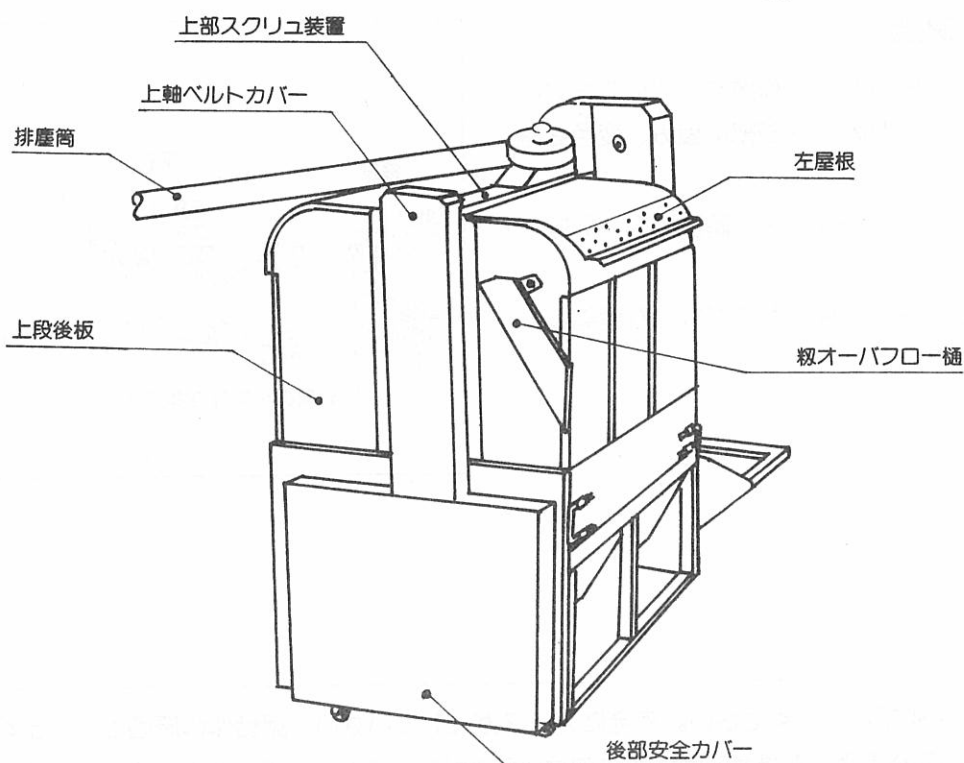
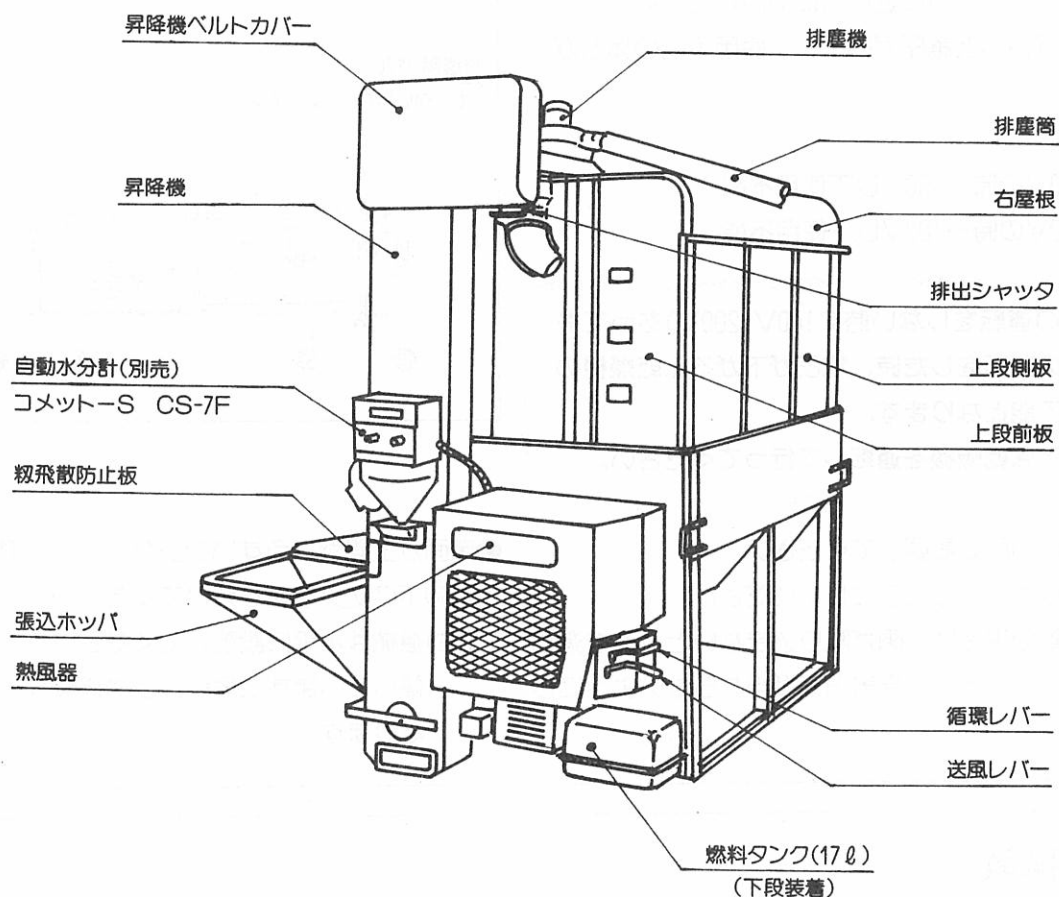
※張込時間は粳水分24%、小麦水分30%のときのものです。

※排出時間は粳水分14.5%、小麦水分12.5%のときのものです。

※電気契約は単相100V15A以上、200V10A以上です。

3. 全体図と各部のなまえ

図-1



4. 運転前の準備と確認

(1) 設置場所

①電源(コンセント)に近い所に設置してください。
コードが長いと電圧が降下し、使用不能場合があります。

■電圧降下

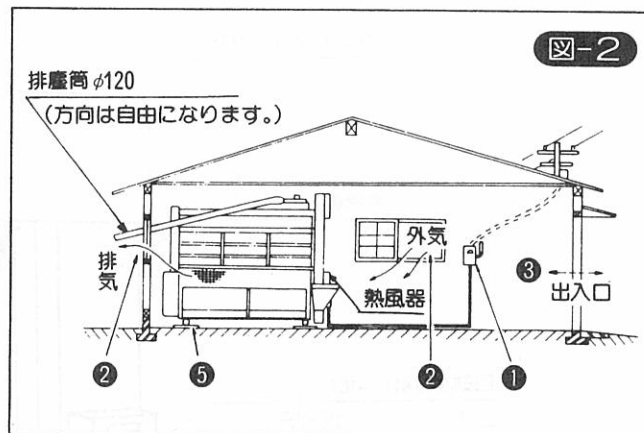
電源100Vの時— 90V以下使用不能

電源200Vの時— 180V以下使用不能

乾燥機の運転をしない時に100V(200V)あっても、乾燥機の運転をした時、電圧が下がると乾燥機の運転は不能となります。

電圧測定は乾燥機を運転して行ってください。

- ②換気の良い所に設置してください。
- ③作業のしやすいところにしてください。
- ④軒先設置の場合は、雨が降り込まないところを選んでください。また、直射日光が当たらないようにしてください。



- ⑤床面が土間か、うすいコンクリートの場合には、車輪の下に丈夫な板を敷いてください。

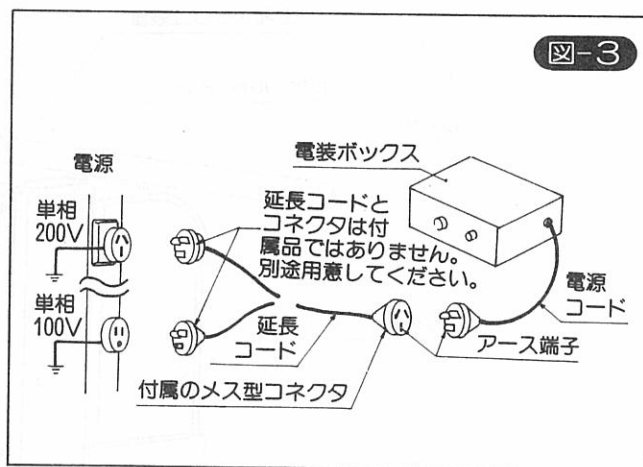
(注)機械は水平に設置してください。

傾いていますと燃焼ムラや機械がひずむ原因となります。

(2) 電気関係

①電源の結線法

- ①元電源のスイッチを切って作業をしてください。
- ②元電源のヒューズ切れ、ネジ部の緩み、変色を確認してください。
- ③電源コンセントのアース端子位置及びアース線を確認してください。
- ④乾燥機までのコードに傷や割れがないか確認してください。

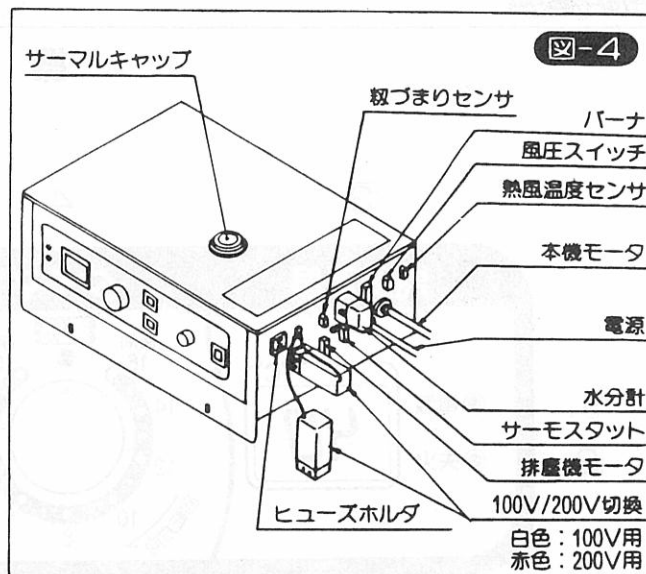


注1. アースは必ずとってください。完全にアースがとれていないと誤動作の原因となります。

2. 100V使用の場合、電源から乾燥機までは、2.0mm²以上のキャブタイヤコードを使用してください。

②プラグ・コネクタ接続の確認

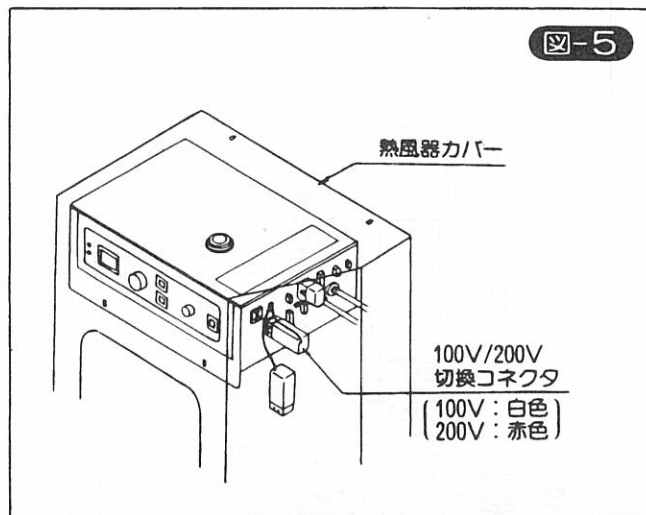
- ①各差込プラグ・コネクタが、所定の場所にきちんと差込まれていることを確認してください。
- ②電源コードを結線し、農舎内の電源スイッチを入れてください。



③100V・200V電源切換え

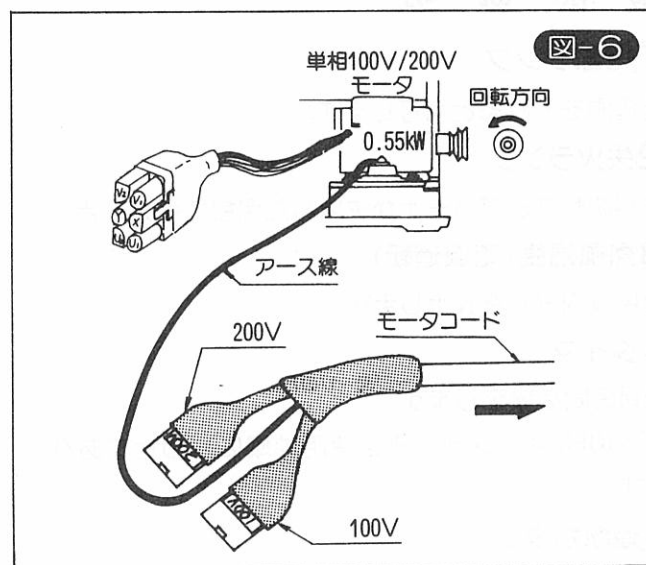
①電装ボックス

出荷時は200Vになっています。100V使用の場合は、電装ボックス右横のコネクタを100V用に差換えてください。



②本機モータ

出荷時は200V側に接続してあります。100V使用の場合は、100V側に差換えてください。



(3)燃料関係

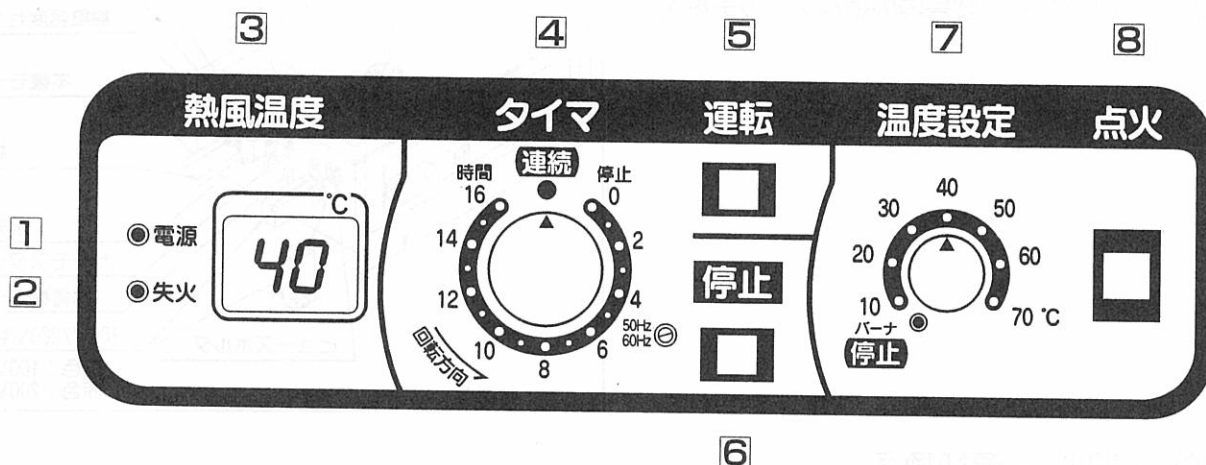
- ①燃料タンクに灯油(JIS 1号灯油)を給油し、パイプの油もれ、ナットのゆるみを点検してください。
- ②乾燥途中で燃料切れのないようにしてください。燃料切れは電磁ポンプの空打ち等、故障の原因となります。
- ③ガソリン・軽油・不良灯油(変質灯油・不純灯油)は絶対に使用しないでください。火災の危険や異臭米、カーボン(すす)発生の原因になります。
- ④燃料を補給する時は、必ず機械を停止して行ってください。

- 燃料は毎年新しい灯油(JIS 1号灯油)を使用してください。昨年の灯油は使用しないでください。古い灯油へつぎたして使用すると水やゴミなどで失火・燃料不良の原因となります。
- 軽油等灯油以外の燃料を使用すると、カーボン(すす)付着、異臭米の原因となりますので絶対さけてください。

(4) 試運転

操 作 盤

図-7



機 能 説 明

①電源ランプ

元電源を入れると点灯します。

②失火ランプ

燃料切れなどでバーナが失火した場合に点火します。

③熱風温度(乾燥運転)

乾燥機内温度を表示します。

④タイマ

運転時間を設定します。

50/60Hz切替スイッチは使用地域に合わせてあります。

⑤運転ボタン

乾燥機を起動させます。

⑥停止ボタン

乾燥機が停止します。

⑦温度設定

乾燥温度を設定します。

- 設定温度は16ページの温度表に従ってください。
- バーナ停止……風だけの乾燥になります。

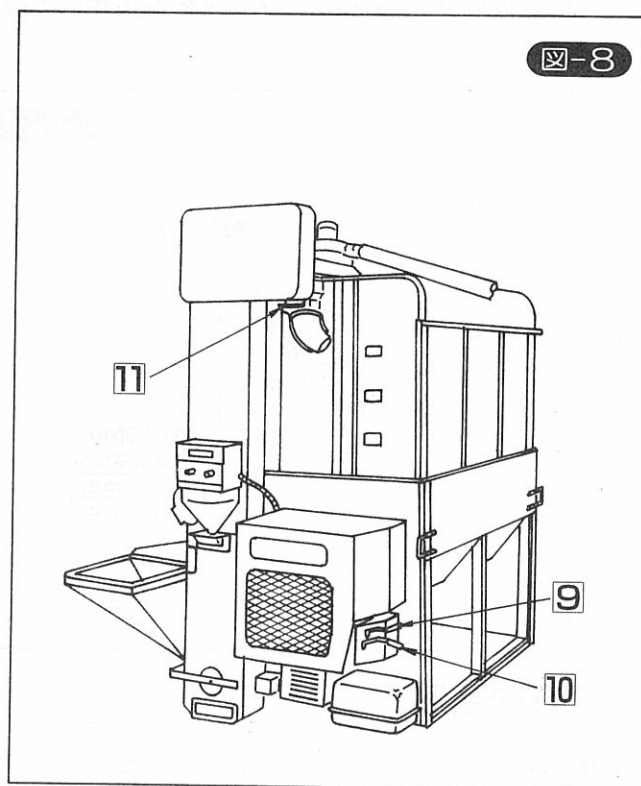
(注) 外気温度より低い温度にすると、異常表示になります。

(30ページのHH点滅の項参照)

⑧点火ボタン

バーナを燃焼させます。

図-8



⑨循環レバー

穀物を循環させます。

⑩送風レバー

風を送ります。

⑪排出シャッター

穀物を乾燥機外に出します。

試運転のしおり

(穀物の入っていない状態での運転確認)

説明用

	手 順	確 認 事 項	チェック	処 置
準備	①電源用プラグを差込む	●「電源」ランプ点灯 排出シャッタを「閉」にする		
張込作業	① タイマ を連続に合せる ② 運転 ボタンを押す ③ 停止 ボタンを押す	●本機モータ・排塵機モータ作動 昇降機の回転方向確認 ●全停止		
乾燥作業(自動水分計なし)	① 循環レバー 、 送風レバー を「まわる」にする ② タイマ を連続に合せる ③ 運転 ボタンを押す ④ 温度設定 ツマミを40℃にする ⑤ 点火 ボタンを押す ⑥ 温度設定 ツマミを バーナ停止 にする ⑦ 停止 ボタンを押す	●本機モータ・排塵機モータ作動 ●バーナ着火、熱風温度表示 〈注〉①一度で点火しなかった場合には停止ボタンを押し、もう一度①～⑤を繰返してください。 ②穀物が入っていないときは設定温度まで上がらない場合がありますが異常ではありません。 ●バーナ消火 (点火トランスとバーナファンは運転) ●全停止		
乾燥作業(自動水分計あり)	① 循環レバー 、 送風レバー を「まわる」にする ② タイマ を連続に合せる ③ 運転 ボタンを押す ④ 温度設定 ツマミを40℃にする ⑤ 点火 ボタンを押す ⑥ コメットーSの電源を入れる ⑦ 電極が5回往復動作するのを確認する ⑧ 5回測定が終ると火が消える ⑨ 5分後に本機が停止することを確認する ⑩ 水分測定精度をチェックする ⑪ 停止 ボタンを押す	●本機モータ・排塵機モータ作動 ●バーナ着火、熱風温度表示 〈注〉①一度で点火しなかった場合には停止ボタンを押し、もう一度①～⑤を繰返してください。 ②穀物が入っていないときは設定温度まで上がらない場合がありますが異常ではありません。 ●「電源」と「自動」の赤ランプ点灯 ●空運転のため“L”を表示する (詳細は別紙「自動水分計取扱説明書」を参照) ●測定終了と同時に消火する ●「自動」ランプが消える ●「コメットパック」(18ページ図-14参照)で水分測定精度をチェックする ●全停止		
排出作業	① タイマ を連続に合せる ② 運転 ボタンを押す ③ 排出シャッタ を「開」にする ④ 停止 ボタンを押す	●本機モータ・排塵機モータ作動 ●全停止		

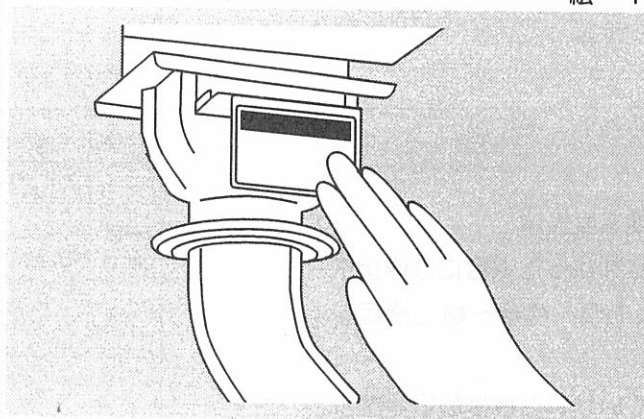
※毎年お使いになる前にこの手順で確認してください。

5. 張込作業

(1) 運転操作

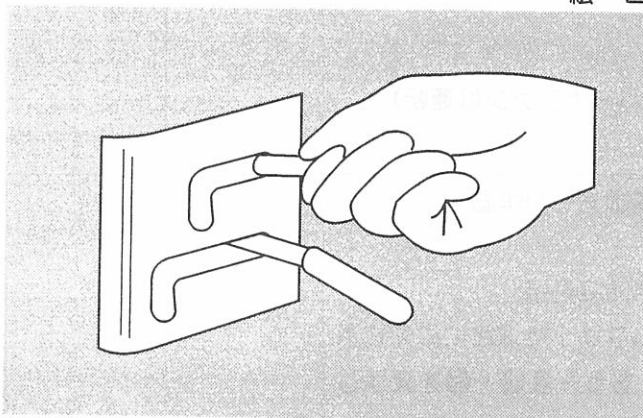
※ **排出シャッタ** が「閉」になっていることを確認してください。

絵-1



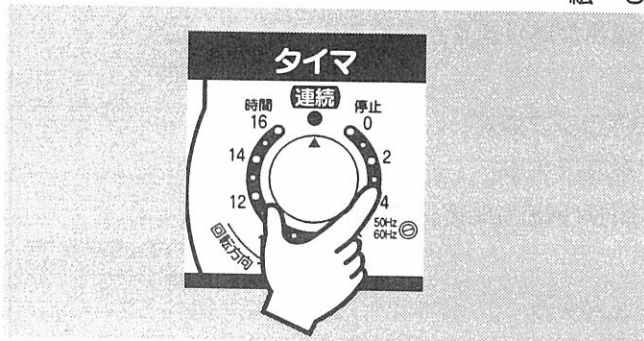
1 循環レバー を「とまる」にする。

絵-2



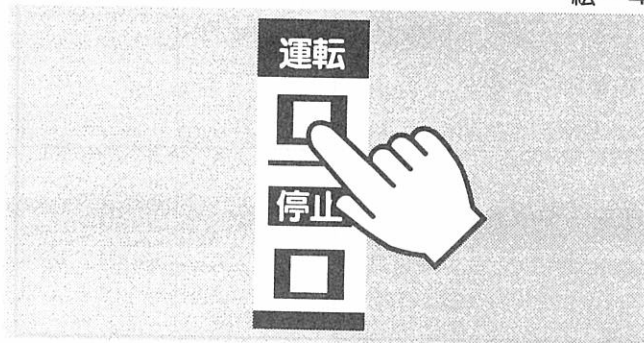
2 タイマ を「連続」に合せる。

絵-3



3 運転 ボタンを押す。

絵-4



4 張込む。



■ 張込量の目安 (粳)

表-1

最小張込量	最大張込量
9~10袋	23~24袋

コンバイン袋数は1袋約32kgで計算してあります。

選別の程度や水分により10%程度かわります。

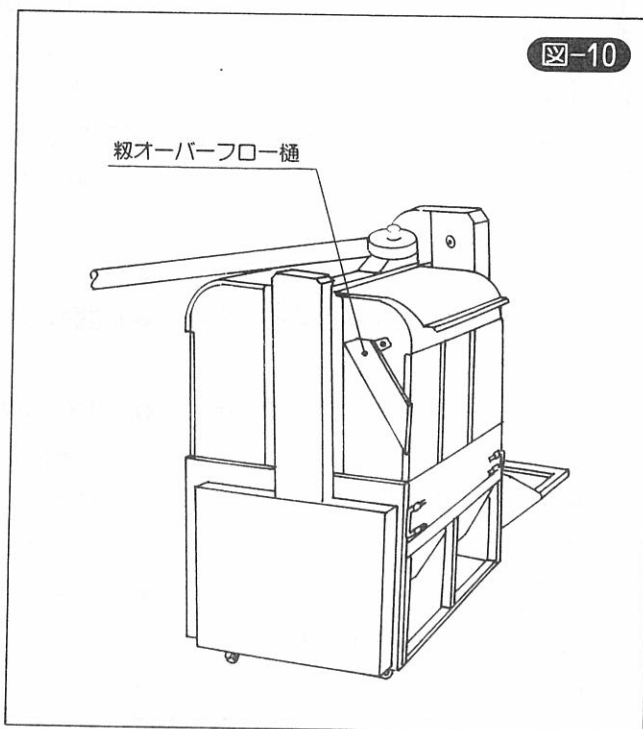
〈注〉8袋以下では風の吹き抜けがあり正常な乾燥ができません。

(2) 確認と注意

■ 開えい(粳殻が開いている)が多い場合は最小袋数での乾燥は脱ぶがふえますので、15袋以上で乾燥してください。

■ 水分16%以下の小麦は満量にせず70%以下の張込量で乾燥してください。

■ 張込みすぎると後方のオーバーフロー樋から漏れますので、空箱などを置いてください。

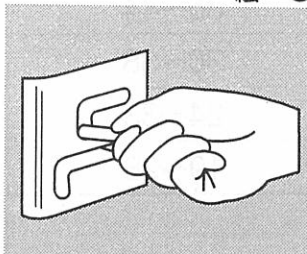


6. 乾燥作業

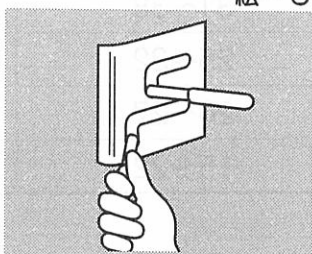
(1) 運転操作 (燃料タンクの灯油の量を確認してください。)

① 循環レバー、送風レバーを「まわる」にする。

絵-5

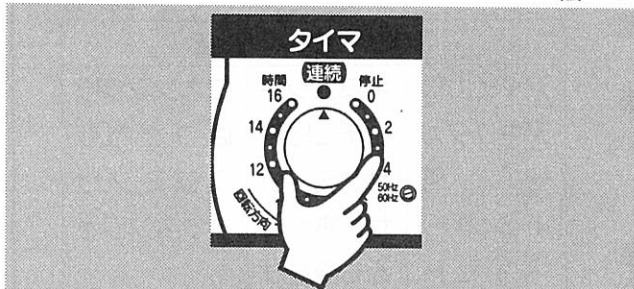


絵-6



② タイマを「連続」に合せる。

絵-7



■タイマ設定時間の計算

乾燥前の水分から目標とする仕上がり水分を引き、それを0.9で割ってください。

$$\text{設定時間} = \frac{\text{乾燥前の水分} - \text{仕上がり水分}}{0.9}$$

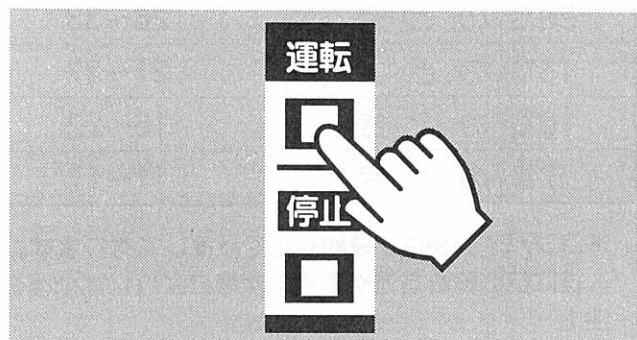
(例) 乾燥前の水分が24%、仕上がり水分15%の場合

$$\text{設定時間} = \frac{24 - 15}{0.9} = 10 \text{時間となる。}$$

- 自動水分計コメント-Sを使用する場合は、これより1～2時間長めに設定してください。
- 追加乾燥時は、1時間当りの乾減率を0.5%位で計算してください。
- 2時間以内に設定する場合は、それ以上まわしてから戻して合わせてください。

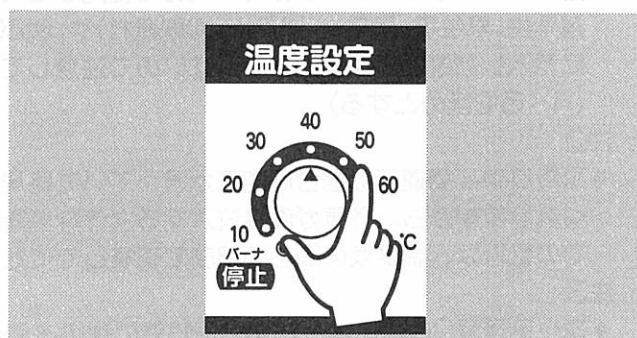
③ 運転 ボタンを押す。

絵-8



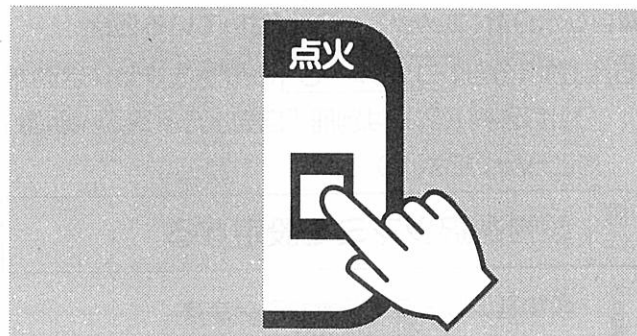
④ 温度 を設定する。

絵-9



⑤ 点火 ボタンを押す。

絵-10



■ 風だけ送るときは 温度設定 ツマミを バーナ停止 の位置にする。

- (注) 1. 電圧降下が大きくて起動できない場合は、送風レバーを「とまる」にして運転ボタンを押し、モータが起動したら送風レバーをゆっくり「まわる」にしてください。
2. 100V電源の場合、運転後の電圧が90V以下になると正常な運転ができないことがありますので、電源配線を改善してください。
3. 一度で点火しなかった場合は停止ボタンを押し、もう一度①～⑤を繰り返してください。
4. 乾燥運転中はバーナが自動的についたり消えたりして温度調節をします。ついている時間と消えている時間は設定温度によって変わります。
5. 点火不調で点火操作を2～3回繰り返した場合は、バーナを点検してください。(27ページ参照) 再運転前に燃焼室内の灯油を必ずふき取ってください。

■ 穀乾燥の温度表

表-2

外気温度 \ 張込量	9~13袋 約280~420kg	14~18袋 約450~580kg	19~24袋 約600~780kg
30℃以上のとき	38~45	43~49	46~52
25℃ のとき	32~39	37~44	42~49
20℃ のとき	26~33	31~38	36~44
15℃ のとき	21~27	25~32	30~38
10℃ のとき	16~22	20~27	24~33
5℃ のとき	11~17	15~22	19~28

※コンバイン袋は1袋約32kgで計算してあります。

袋に詰められた量や選別の状態により10%前後の差が出る場合があります。

注1

- 温度表には、幅をもたせてありますので、初回は低めで乾燥し、ようすをみながら徐々に高めて使用してください。極早生、早生種、早期米、過熟米(刈取遅れ)や、脱ぶ米が多量に混入した場合等は胴割れしやすいので注意してください。(4~5℃低めとする)

注2

- 雨降りや夜間運転の場合は空気が湿っていて乾燥効率が悪くなりますから、外気が直接流入するような場所(軒先等)での乾燥は、温度表の高めの温度で乾燥してください。

注3

- 極少処理量9袋の時は上表の9~13袋の列の左側の低い温度で乾燥してください。

表-3

胴割れしやすい品種		
アキヒカリ	キヨニシキ	ニホンマサリ
アキユタカ	コチヒビキ	はつかおり
碧 風	ササミノリ	フジミノリ
イシカリ	サトホナミ	ホウネンワセ
オオセト	ともゆたか	
カツラワセ	トヨニシキ	など

■ 自動水分計(コメットーS)が付いている場合

- ⑥ 自動水分計 **コメットーS** の設定をする。(自動水分計は別売)(詳細は別冊「自動水分計取扱説明書」をごらんください。)

操作 穀物選択ツマミを設定する

↓
穀物選択は3つに分かれています。
どれかに正しく設定してください。

操作 停止水分(%)ツマミを設定する

↓
設定は12.0~16.5%の0.5%きざみです。
他に2段乾燥用(18%)があります。

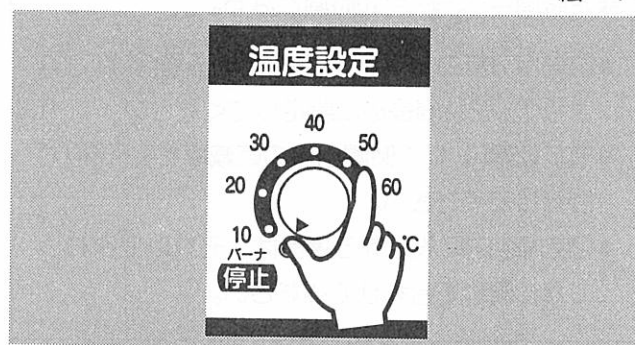
操作 電源スイッチを入れる

乾燥途中で電源を切らないでください。
コンピュータの記憶が失われてしまいます。

⑦ 乾燥途中の停止(手動停止)

温度設定を **バーナ停止** にして、2~3分後 **停止** ボタンを押す。

絵-11



⑧ 乾燥終了(水分計設定水分(%))またはタイマが切れると乾燥機は自動停止する。)

自動水分計コメットーS使用の場合。

1 乾燥機のタイマは？

タイマで止っていることもありますから必ず確認してください。

(タイマの残り時間を見ておくと、次のタイマセッに役立ちます。)

2 水分表示は設定と同じか？

途中で乾燥機のみ停止させると、平均値ではなく、停止水分(%)と同じ値を表示します。

故障の場合は点滅表示となります。

3 確かに仕上がってますか？

乾燥機の試料取出口などから取った試料を機外測定で確認してください。

粳は必ず附属の粳すり器を使って玄米にして測ってください。

4 コメット-Sの電源スイッチを切る

スイッチを切り忘れると次の乾燥のとき乾燥機の点火ができません。

■酒米乾燥

搗精歩留りが問題になりますので、それぞれの地域の指導機関のご指導によって行ってください。

■種粳・種麦乾燥

発芽率が特に問題になりますので、それぞれの地域の指導機関のご指導によって行ってください。

麦の乾燥

■小麦乾燥

小麦乾燥で注意が必要なことは小麦のネバリのもとであるグルテン含有率を下げないようにしなければなりません。50℃以下で乾燥してください。

ただし、極少処理量9袋の時は、45℃以下の温度で乾燥してください。

■麦の再乾燥(仕上乾燥)水分16%以下の麦

麦の再乾燥(仕上乾燥)を行う場合は満量とせず70%以下の張込量としてください。

■ビール麦乾燥

あまり高温で乾燥すると発芽率、発芽勢が下がります。45℃以下で乾燥してください。

ただし、極少処理量9袋の時は、40℃以下の温度で乾燥してください。

水分30%以上で退色等の品質低下を招くおそれのある高水分麦を乾燥する場合は、水分18~23%位までは40℃以下の温度で乾燥してください。

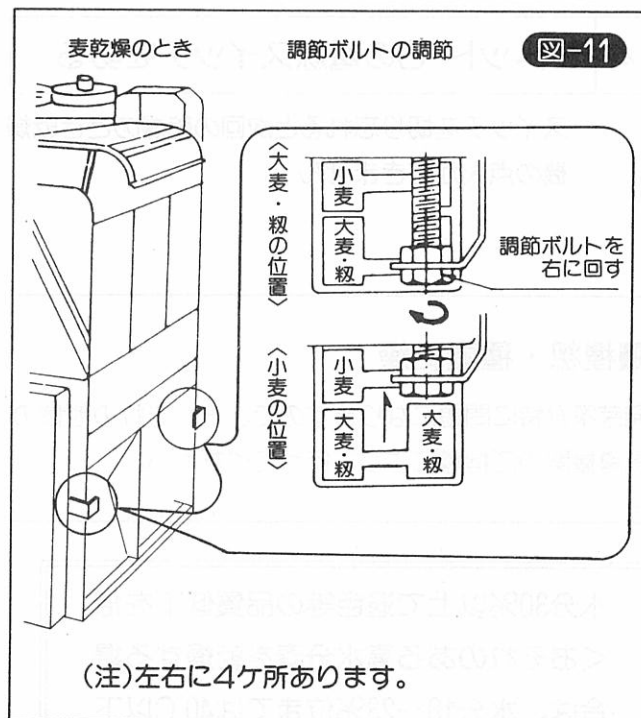
ただし、発育不良等の小麦の場合は、以上の様な乾燥操作をしても品質低下を防止できないことがあります。又、その年により乾燥方法を変える必要が生じる場合もありますので詳細についてはそれぞれの地域の指導機関等にご相談ください。

(2)確認と調節

■調節ボルトの調節

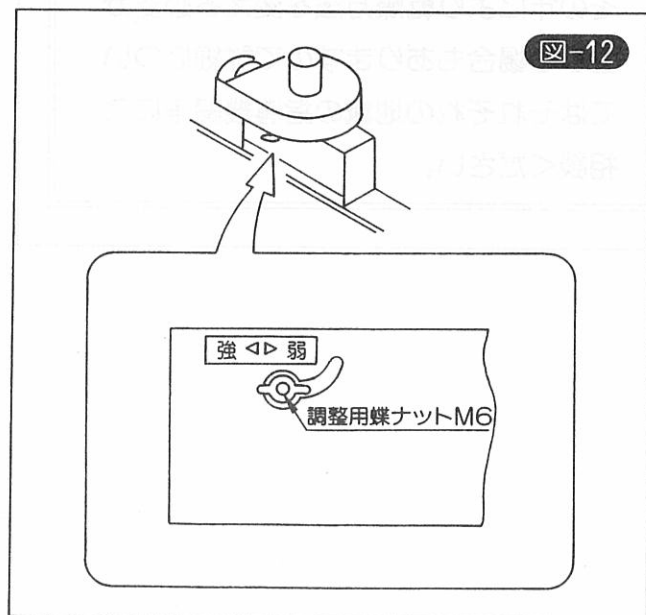
- ①小麦乾燥を行う場合は、張込前に調節ボルトを回して「小麦」の位置に合わせてください。
- ②小麦乾燥が終了したら、「粳」の位置にもどしてください。

穀物が入っていると調節できませんので、必ず張込前に調節してください。



■排塵機の風量調節

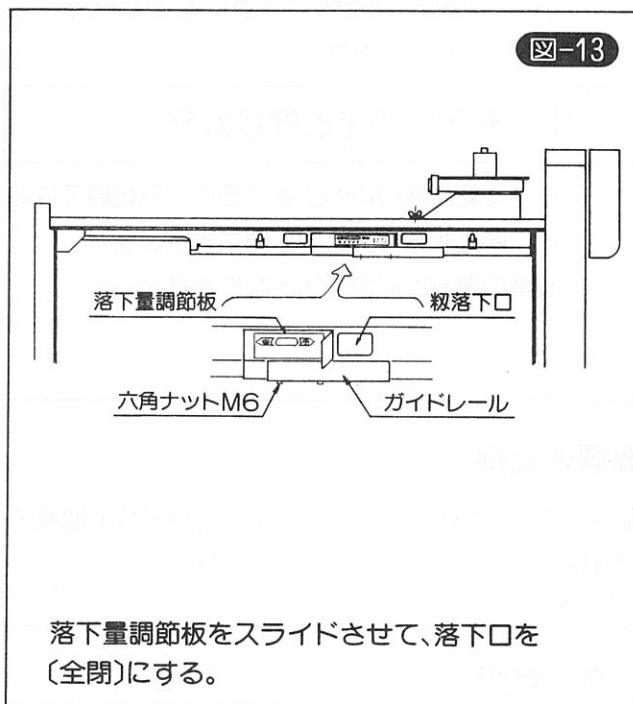
- ①排塵機の強弱は、風量調節板の位置を変えることで調節できます。
- ②排塵機から粳とびする場合は、風量調節板を弱の側へ移動してください。



■上部スクリュの落下量の調節

- ①少量乾燥などで熱風路が露出する場合は、落下量調節板を「全閉」にしてください。
- ②乾燥が終了したら「全開」にもどしてください。

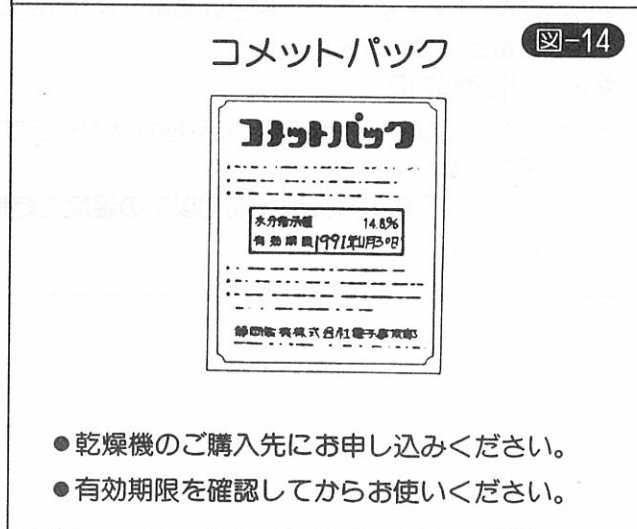
調節は必ず機械を停止して、安全を確認してから行ってください。



■自動水分計(別売)の精度点検

- ①コメット-Sは、精度の高い電気抵抗式です。農産物検査法に基づく標準計測方法を基準にして作られています。

精度点検には弊社のコメットパック(基準米)をご利用ください。



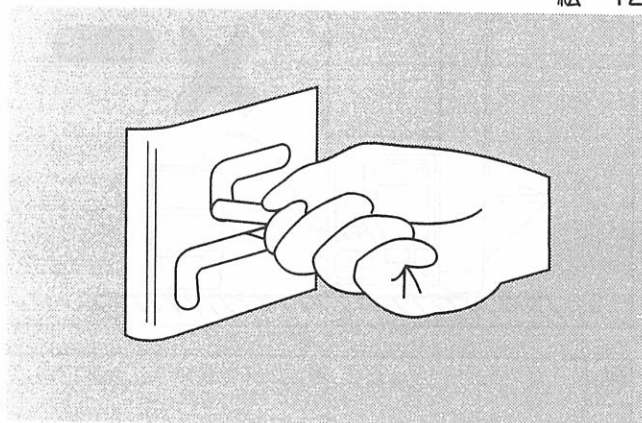
- ②他の水分計と比較する時は、古米など水分の安定した玄米で測ってください。

7. 排出作業

(1) 運転操作

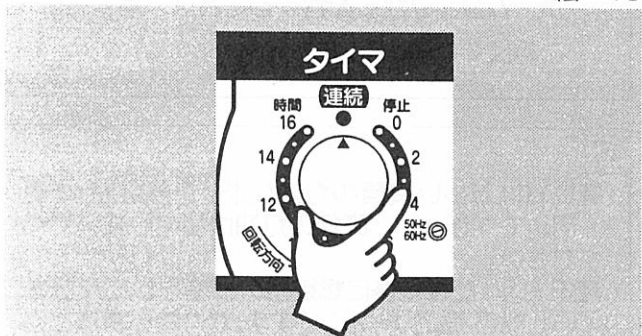
① 循環レバー を「まわる」にする。

絵-12



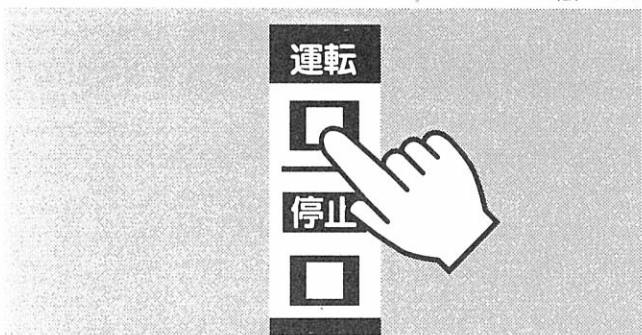
② タイマ を連続に合せる。

絵-13



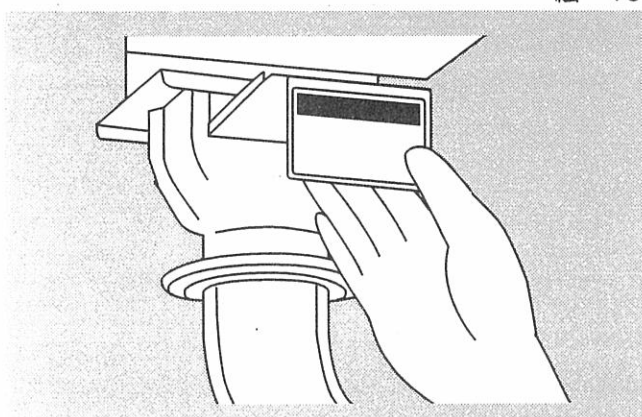
③ 運転 ボタンを押す。

絵-14



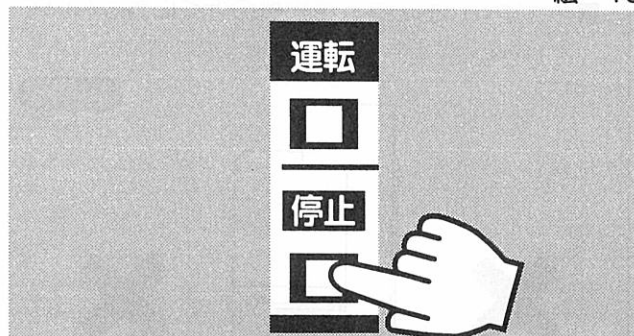
④ 排出シャッター を「開」にする。

絵-15



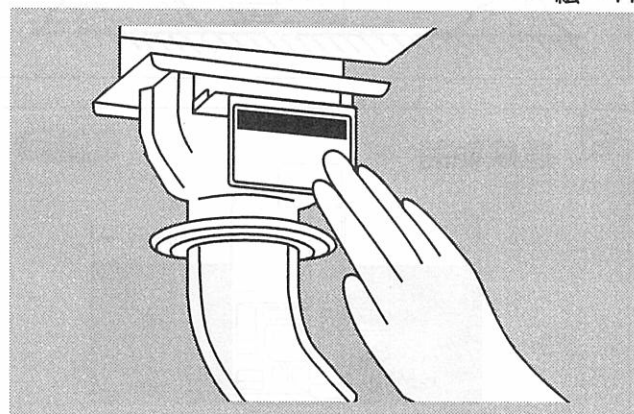
⑤ 排出後 停止 ボタンを押す。

絵-16



⑥ 排出シャッター を「閉」にする。

絵-17



■ 排出スロフ使用の場合

1. 排出スロフは本機モータと同時に回ります。
2. 排出シャッターは一気に開けてください。
ゆっくり開けると、排出スロフがつまる場合があります。
3. 途中で止めるときは、先に排出シャッターを「閉」にし穀物がなくなってから停止してください。
4. 排出終了後、排出スロフのケーシング内を掃除してください。
ケーシング内に穀物が残っていると、次の運転のときにつまる場合があります。

(2) 確認と注意

■ 穀すり作業は乾燥終了1時間以上過ぎてから行ってください。

■ 穀すり前と出荷前の水分確認

穀すりや出荷までの期間が長い場合は、出荷前に水分の確認を行ってください。

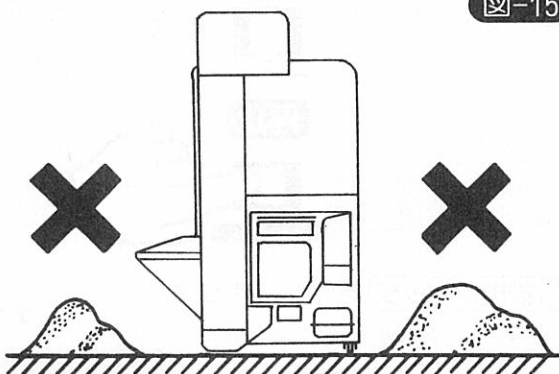
特に麦は梅雨期を経たからの出荷となりますので注意してください。

8. 火災予防上の注意

①

■燃えやすいものを、乾燥機の近くに置かないでください。

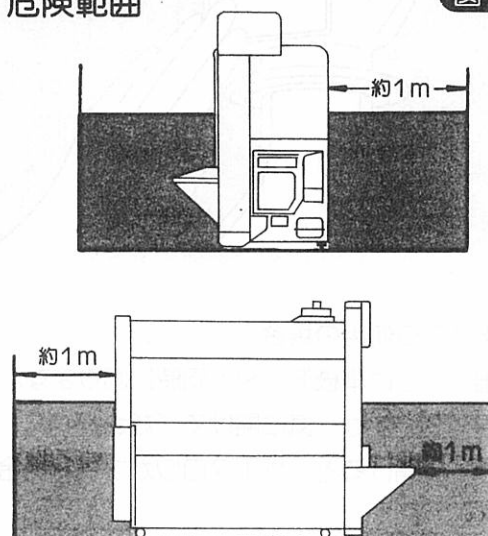
図-15



②

危険範囲

図-16

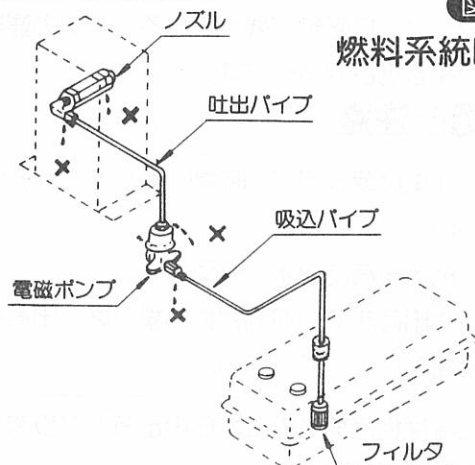


③

■吸込・吐出パイプ接続部よりの油もれのないようにしてください。

図-17

燃料系統図

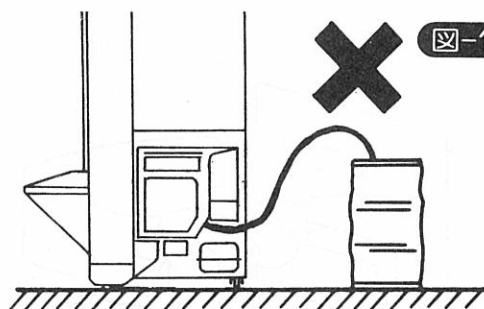


〈注〉無人運転を避け、ときどき運転状態を確認してください。

④

■燃料はドラム缶より直接バーナへ接続しないでください。消防法で禁止されています。

図-18



⑤

ホームタンク使用の注意点

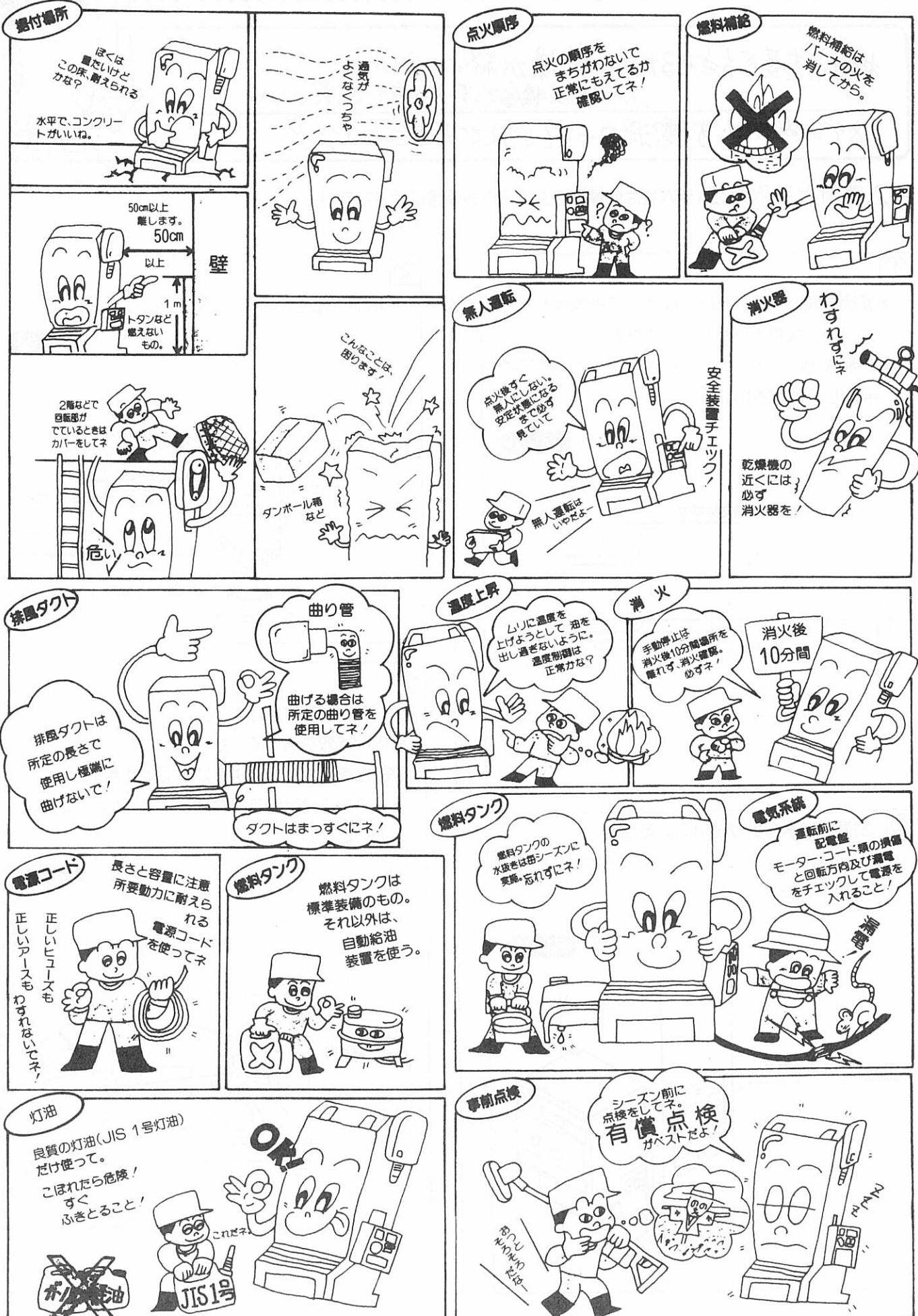
ホームタンクから配管する場合は、購入先にご相談ください。

⑥

■燃料は新しい良質の灯油(JIS 1号灯油)を使用してください。昨年の灯油は使用しないでください。

■年1回、乾燥前後に燃焼器の掃除をしてください。燃焼器にカーボン(すす)が付着しますと、着火不良、炎センサ誤動作、失火の原因になります。

安全チェック



9. 保守と点検



機械を長もちさせるために乾燥が終わりましたら、
次の様な順序で手入れをしてください。

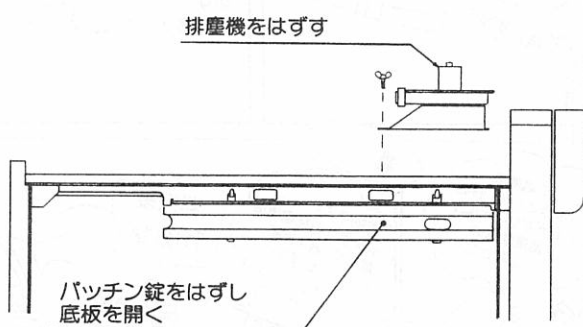
※その前に必ず電源コードをはずしておきましょう!!

手入箇所と手入方法(手入れは乾燥機の上の方から順番に行います。)

①

- 屋根を開けるか、又は、はずして排塵機と上部スクリユ装置の掃除をしてください。
- 乾燥機内にワラくずがある場合は、ホウキ等で掃除してください。

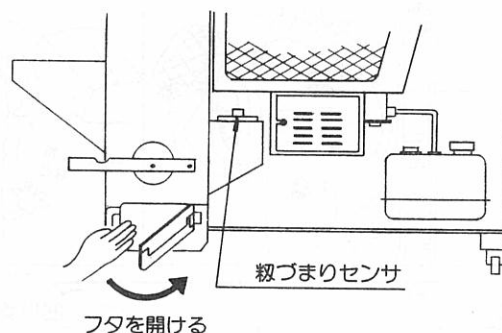
図-20



③

昇降機下部の掃除をしてください。

図-22



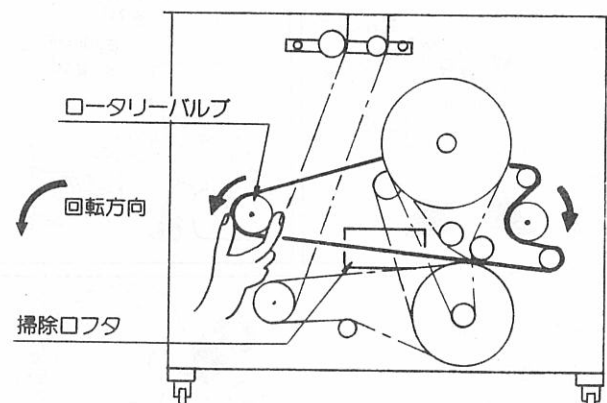
④

ロータリバルブを回転方向に手でまわし、バルブ桶内の残穀を落してください。

(注)指をはさまないようにしてください。

下段中央の掃除口フタをはずして、機内の掃除をしてください。

図-23

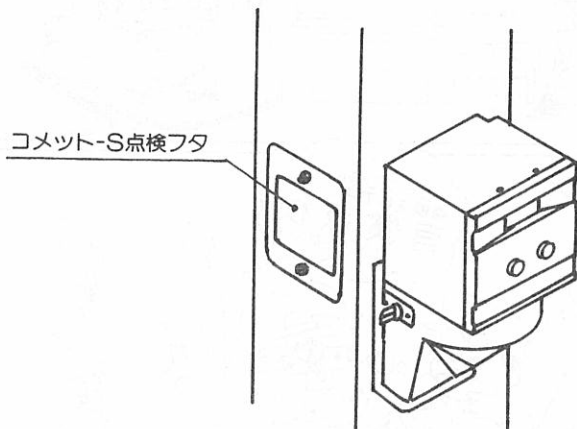


②

別売自動水分計が付いている場合

自動水分計コメット-S点検フタ内部のシュートを掃除してください。

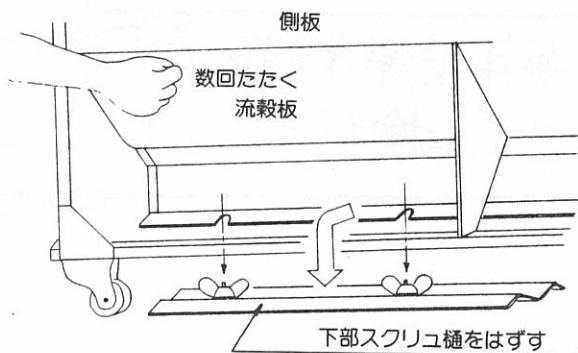
図-21



⑤

下部スクリュ樋をはずし残穀を落してください。
このとき側板や流穀板を軽く手でたたいて機内の
ゴミを落してください。

図-24



⑥

各掃除口を開けたまま、電源を接続し、**排出**の
操作をして2～3分運転してください。

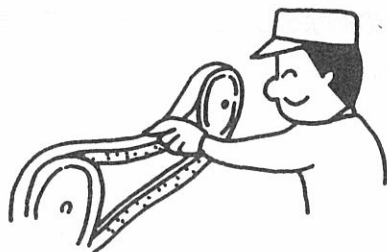
⑦

燃焼器の掃除をしてください。(27ページ参照)
(年1回程度)

⑧

各部のVベルトを点検してください。
切れそうなベルトは早めに交換してください。

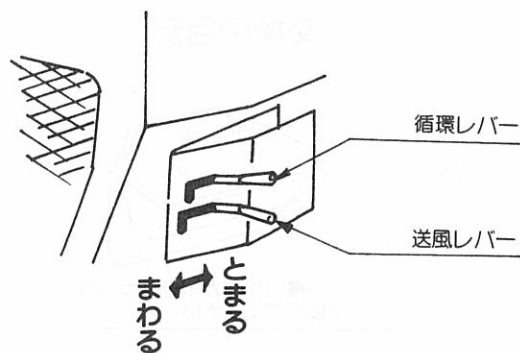
図-25



⑨

循環レバー、送風レバーは「とまる」にしてくださ
い。

図-26



⑩

チェーンやスプロケットの点検、掃除。軸の部分
へ注油をしてください。

図-27

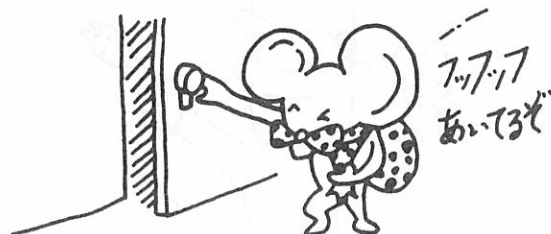


(注)注油が多過ぎてベルトに掛からないように。

⑪

掃除が終わったら、張込ホツパ及び各掃除口は元通
りに閉めてください。

図-28

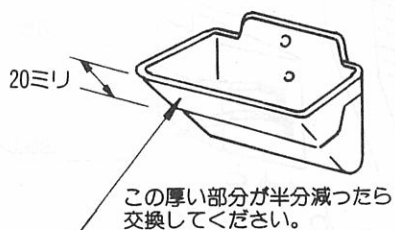


⑫

昇降機/バケットが摩耗すると揚穀量が減り昇降機
のつまりの原因となります。摩耗したバケットは
ベルトと一体で交換してください。

図-29

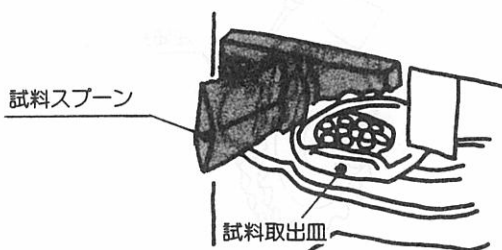
交換の目安



⑬ 別売自動水分計が付いている場合

自動水分計の試料取出皿が試料スプーンの下に戻
っているか確認してください。戻っていない場合
は電源を入れて正規の位置(試料スプーンの下)に
してください。

図-30



⑭

電源コードは元からはずしておいてください。電
源コードが接続されたままですと、雷などの影響
で制御装置が損傷することがあります。

図-31



10. シーズン前の運転



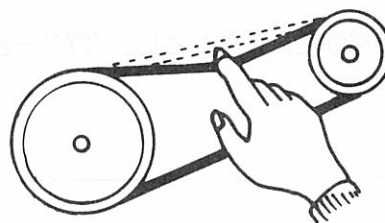
毎年乾燥作業前には
必ず点検をしましょう。

(1) 本機の点検

- ①各部の締付けと回転部の点検をしてください。
- ②Vベルトの張具合はスプリングテンション調節板ま
たはテンションプーリの移動で行います。(右図)
- ③Vベルトの掛け方と張りを確認してください。張具
合はVベルトの真中を指で軽く押して10~15mmへこ
む程度が適正です。

Vベルトの張り

図-32



指で押えて10~15mmへこむ程度が適正。

- ④チェーンの調節は、(図-33)Aのテンションブラケ
ットで行います。あまり張過ぎないようにBのとこ
ろを指で押えて約5mm位へこむ程度が適正です。
- ⑤機体内外の掃除をし、コード類のネズミ害を調べて
ください。

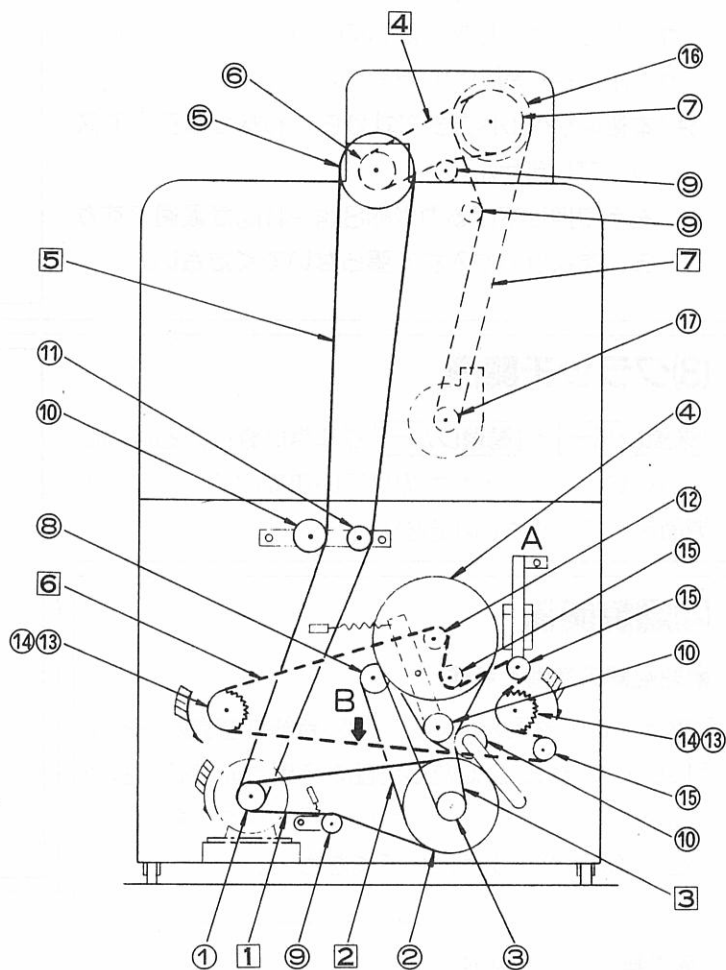
プーリとVベルト

図-33

■プーリ

表-4

番号	名 称	備 考
①	モータープーリ	50Hz: $\phi 73.5$, $\phi 57$
		60Hz: $\phi 61.5$, $\phi 48$
		1755r.p.m
②	下部スクリュプーリ	$\phi 209.5$ 465r.p.m
③	バルブ減速プーリ	$\phi 52$
④	バルブ駆動プーリ	$\phi 255$ 90r.p.m
⑤	上部スクリュ駆動プーリ	$\phi 165$ 475r.p.m
⑥	昇降機駆動プーリ	$\phi 88$
⑦	昇降機プーリ	$\phi 140$ 295r.p.m
⑧	送風機プーリ	$\phi 54$ 1900r.p.m
⑨	テンションプーリB(平)	$\phi 58$
⑩	テンションプーリC(平)	$\phi 80$
⑪	テンションプーリA(V)	$\phi 63$
⑫	バルブ駆動スプロケット	#40 歯数11
⑬	バルブ軸駆動スプロケット	#40 歯数23(鉄)
⑭	バルブ軸スプロケット	#40 歯数23(樹脂)
⑮	ガイドスプロケット	#40 歯数11



回転方向

■Vベルト・チェーン

表-5-1

番号	名 称	寸 法
①	下部スクリュ駆動用	LA(SA)-45
②	送風機駆動用	LA(SA)-46
③	バルブ駆動用	LA(SA)-53
④	昇降機駆動用	LA(SA)-42
⑤	上部スクリュ駆動用	A-131
⑥	バルブ駆動チェーン	#40×136 W部 5

表-5-2

排出口ワ(別売)		
番号	名 称	備 考
⑬	スロワ駆動プーリ	$\phi 256$
⑭	スロワプーリ	$\phi 72$
		1050r.p.m
⑮	スロワ駆動用	A-87

(2)昇降機バケットベルトの調節

■昇降機がまわっている状態で調節します。(右図)

①左手で軽くテンションバンドを下に押えながら、
②右手で六角ボルト(M10)をゆるめる。(下部軸がゆるむ)

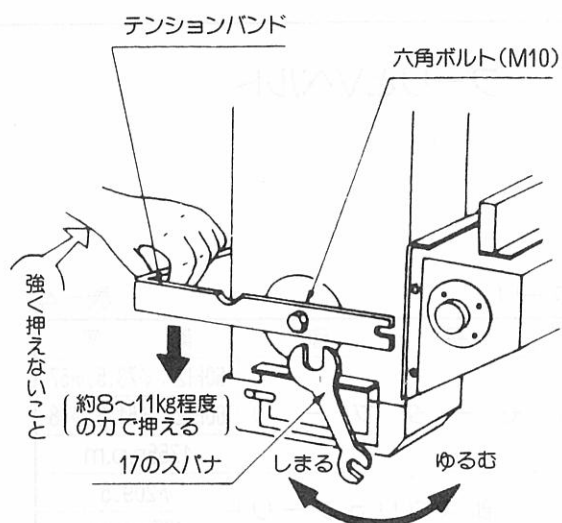
③テンションバンドを押し下げる。

④押し下げる力が弱すぎたりするとバケットが当り音が出ることがあります。音の出ないところで、しっかりボルトを締めてください。

(注)本機はVベルト方式ですから、わずかな張力でスリップしません。

左手で押し下げる力が約8kg～11kgが最適ですから、あまり力を入れて張らないでください。

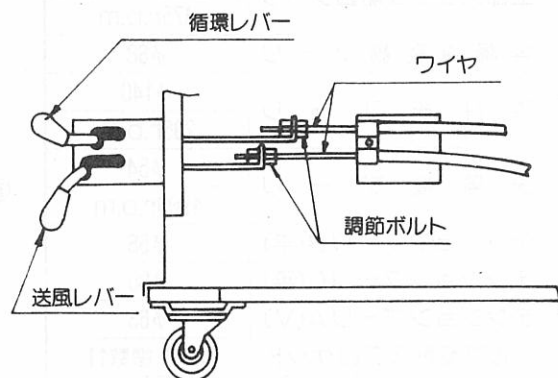
図-34



(3)クラッチ関係

送風レバーと循環レバーが非常に軽く入ようになった場合は、ワイヤがのびていますので、ワイヤの調節をしてください。(右図)

図-35



(4)燃焼関係

■熱風器の準備と点検

熱風器付近の換気をよくし、常に新鮮な空気が入るようにしてください。ただし外部から風が吹き込むような場合は風よけをしてください。燃えやすいものなどを近くに置かないようにしてください。

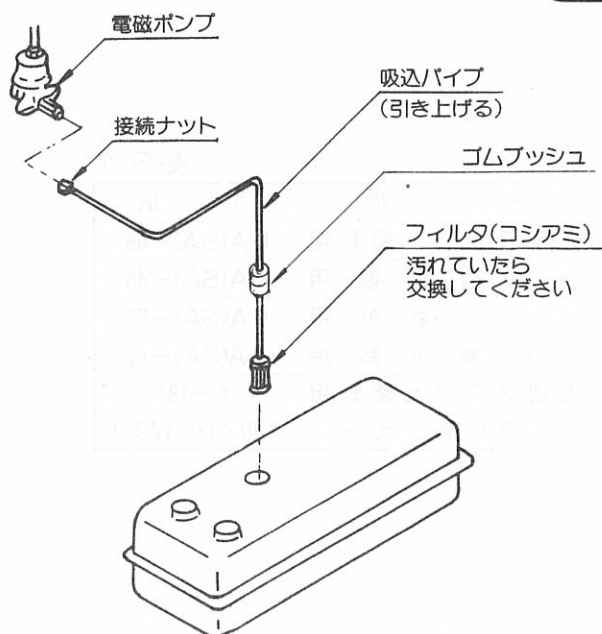
図-36

■燃料タンクの点検

燃料系統不調の場合はフィルタの目づまりによる場合が多くみられます。フィルタはタンク内にあります。フィルタは消耗部品ですので、つまった場合は交換してください。

フィルタ(コシアミ)の点検

- ①バーナ部についている電磁ポンプ吸込側の接続ナットをはずす。
- ②燃料タンクにはめてあるゴムブッシュと共にパイプを引抜く。
- ③フィルタ(ストレーナ)が汚れている場合は、交換してください。
そのまま引抜くと、はずれます。



(5)バーナの点検・掃除

— 火炉(バーナ)分解手順 —

- ① 熱風器カバーをはずす。
- ② 電磁ポンプに接続されている接続ナットを取りはずす。(スパナをダブルにかける。)
- ③ バーナコードを抜く。
- ④ ストップパを内側に倒し手前に引き出す。

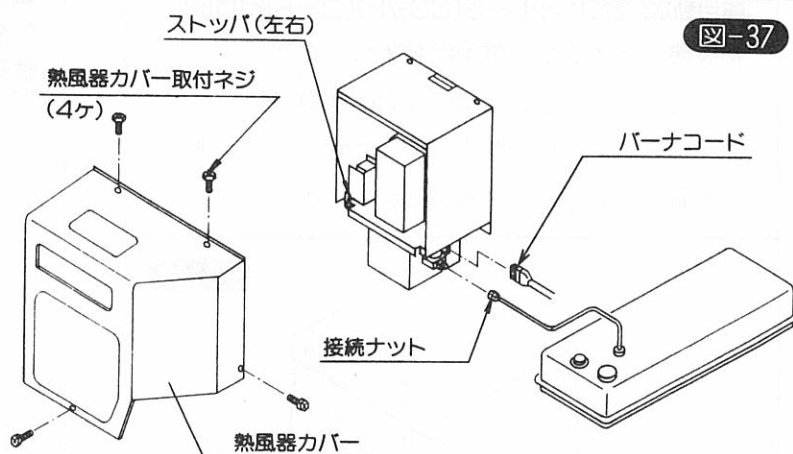


図-37

— 掃除箇所 —

燃焼部

下記部分のカーボン(すす)や、ホコリを取除いてください。

① 炎センサ

引抜いて先端部分を掃除、引抜いたパイプ内を付属の掃除ブラシで掃除。

② フレームホルダ

内、外面をやわらかい布でふく。

③ エレクトロード

先端部の掃除。

④ ノズル

先端部をやわらかい布でふく。

■ 燃焼室(本体側)

内側の掃除。

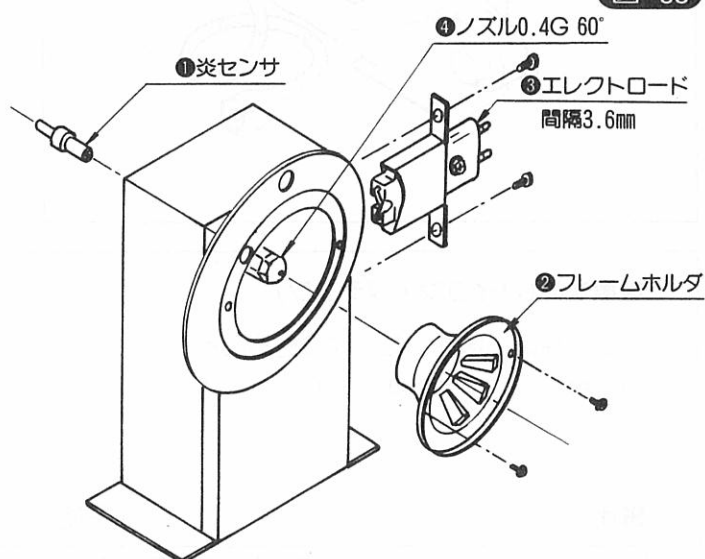


図-38

バーナファン部

① カバーをはずす。

② バーナファンの曲面部のホコリを付属の掃除ブラシで取る。

■ 組付けは分解と逆の順序で行ってください。

〈注〉組付けの際、ダンパ開度は必ず元の位置にあわせてください。

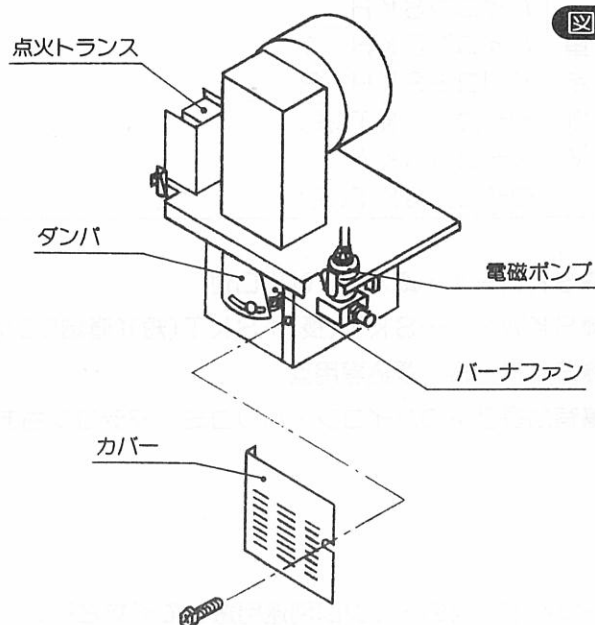


図-39

11. 便利な別売部品(オプション)

■自動水分計コメットーS(CS-7F)(コードNo101870)

乾燥機と一体設計の専用自動水分計です。

このコメットーSは永年の技術的蓄積に基づいて開発した全く新しい制御方式の自動水分計です。

測定範囲 11~30%、設定範囲12~16.5%

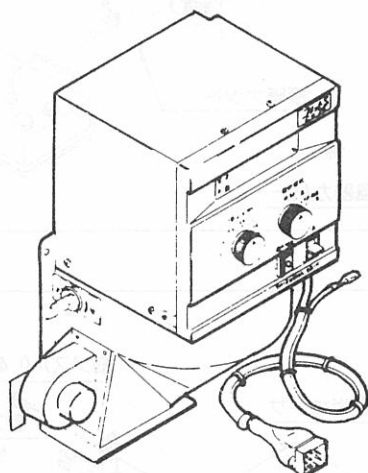


図-40

■排出スロワ(HH-800A)(コードNo102980)

乾燥の終了した穀(麦)を遠方の貯蔵庫や2階の貯蔵庫に排出する場合にお使いください。

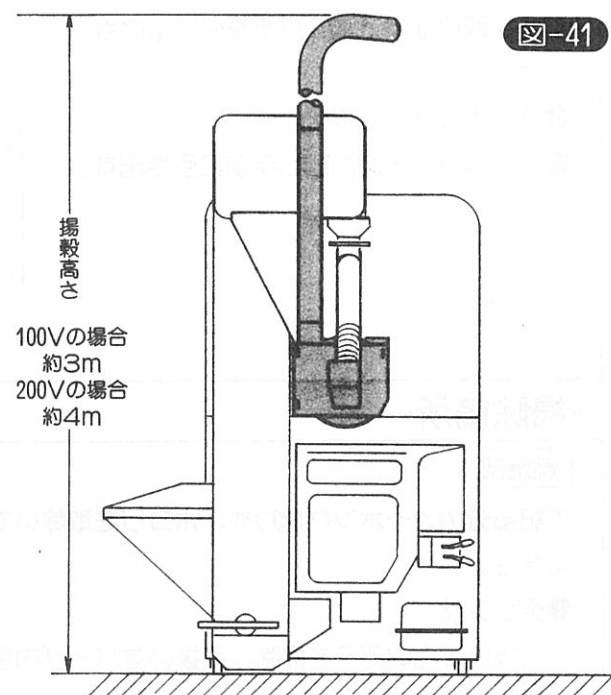


図-41

■搬送機(ハイコン・タテコン)

縦にも横にも穀をいためずに送ることができます。

乾燥機とセットでお使いください。

■仕様

(各種の組合せ可能)

型	式	搬送量 (t _n /H)	有効長 (m)	傾斜角度 (最大)	所要動力 (KW)
単 相 100 V	ハイコンSKH	6.0	1.5	35°	0.15
	ハイコンSKH-1				
	ハリコミSKH-R			90°	0.25
	タテコンSKT(長)				
	タテコンSKW	0.3	0.3	35°	0.1
	タテコンSKT(短)				

●SKH-1…取入口、吐出口付

●SKW………SKT(長)+SKT(短)(直結ワンボディ型)

●SKH-R…張込専用型

■有効長2mのハイコン・ハリコミ・タテコンもあります。

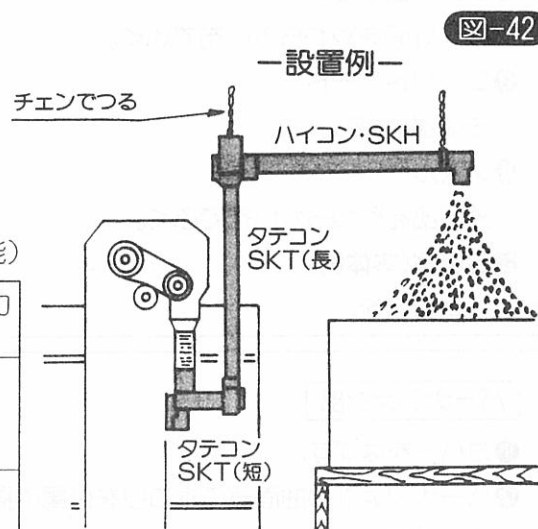


図-42

※つり下げ用のチェーンは別途用意してください。

12. 故障とその処置

●サービスマンを呼ぶ前にまずご自分で点検してください。

(1)安全装置のはたらきと定格

安全装置には下表のようなはたらきがあります。機械に不具合が発生した場合は、下表を参考にして機械を点検してください。

安全装置	はたらき	定 格	機械の状態	ページ・図
タイマ	設定した時間が経過すると乾燥機を停止する。	最大16時間設定	全停止	P-12 図-7
自動水分計 (別売)	設定した水分まで乾燥するとバーナを停止し、次にモータを停止する。 モータ停止30秒後にモータは運転可能になる。ただし、 <u>バーナは自動水分計の電源を切らないと運転できない。</u>	12.0～16.5%まで0.5% きざみの設定と18.0%	バーナ停止 ▼ モータ停止	P-16、17
サーマルリレー	本機モータが過負荷になると作動する。	設定値 50Hz：5.5A 60Hz：5.0A	全停止	P-34 表-7 図-44
紐づまりセンサ	昇降機、上部スクリュ等がつまると作動する。	接点「開」で作動	全停止	P-34 図-43
電源ヒューズ	制御回路に過電が流れると切れる。 (トランス、電磁接触器、電磁ポンプ、点火トランスなどの故障)	2A、250V	全停止 「電源」ランプ消灯	P-34 表-8 図-45
サーモスタット	バーナ付近が異常に過熱すると作動する。 一度作動すると復帰に10分位かかる。	接点で「開」で作動 作動温度：85℃	バーナ停止	P-34 図-43
風圧スイッチ	送風機の風量が減ると作動し、電磁ポンプの電源を切る。	接点「開」で作動	ポンプ停止 「失火」ランプ点灯	
炎センサ	バーナの炎の有無を検知する。	炎有り：30kΩ以下 炎なし：60kΩ以上	—	P-27 図-38

注1「失火」ランプ

乾燥中に失火の状態が14秒以上続くと、「失火」ランプが点灯し、電磁ポンプの電源を切ります。この場合は、27ページ(図-38)を参照してバーナ部を点検してください。

注2コネクタ抜けや断線、接触不良の場合でも回路はセンサ作動として受けつけますので各部を点検してください。

●異常コードの表示

「失火」ランプが点灯した場合、デジタル表示が異常の内容によって、下記の異常コードを表示します。

デジタル表示	異常の内容	「失火」ランプ
E 2	失火回路異常、外光	点灯する。
E 3	初回失火	点灯する。
E 4	乾燥中失火	点灯する。
E 5	着火遅れ	点灯しない。(運転継続)

(2)乾燥機のデジタル表示が **H** **L** **E7** となる場合

デジタル表示	理 由 又 は 状 況	確 認 方 法 と 処 理
Lの連続	熱風温度が0℃以下になったとき	設定温度を40℃程度に設定して運転してください。5分位で設定温度になれば正常。
Hの連続	熱風温度が71℃以上になったとき	デジタル表示がL又はHのままのときは熱風温度センサ又は回路基板の故障。
Lの点滅	熱風温度センサが断線状態(200kΩ以上)となり、温度制御ができない。	●熱風温度センサの故障。 抵抗値をテスターで確認する。
Hの点滅	熱風温度センサがショート状態(4kΩ以下)となり、温度制御ができない。	●回路基板の故障。
E7の表示	設定温度に対し、5℃以上高い状態が5分間続いたとき、異常高温と判断して、燃料停止となる。	●熱風温度センサの故障。 抵抗値をテスターで確認する。 ●回路基板の故障。
	設定温度が外気温度より5℃以上低く設定されたとき。	この場合は故障ではない。 温度設定を外気温度より高くする。 バーナを停止させるときは、温度設定ツマミをバーナ停止位置にする。

電気・電子部品取扱い上の注意点

- 1.きれいな手で部品を扱ってください。水や油、ホコリが付着しますとショート、漏電、接触不良、腐蝕等により部品不良が発生する場合があります。
- 2.部品をていねいに扱ってください。投げたり落としたりしますと、部品の損傷・破壊につながります。
- 3.バーナ制御基板扱う際には、直接ICのピンに手でふれないでください。静電気によりICが破壊され思わぬトラブルになることがあります。
- 4.バーナ制御基板に、みだりにテスト棒を当てないでください。素子によっては、電氣的に破壊されるものもあります。
- 5.制御系のチェックをする場合には、特に必要でない限り電源を切って行ってください。通電中にコネクタの抜き差しを行いますとトラブルにつながる場合があります。



●乾燥作業で問題になることが発生しても容易に処置できることがあります。

●サービスマンを呼ぶ前にまずご自分で点検してください。

(3)電気・モータ関係

故障のようす	原因	処置	ページ・図
感電する。	1.アースがとってない。 (切れている)	アースをしっかりとってください。 元電源のアース線を確認してください。	P-10 (2) ③
	2.誤配線。	元電源(柱、壁)の配線を確認してください。	図-3
運転ボタンを押しても運転ができない。	1.電源ランプが点灯しない。	元電源を確認してください。	P-10 図-3
	2.コメット-Sで停止したままになっている。	コメット-Sのスイッチを一度切ってから運転をしてください。	P-17 図-4
	3.タイマーが停止の位置にある。	タイマを連続に合せてください。	P-12 図-7
本機モータがまわらない。	1.サーマルリレー作動。 (復帰ボタンが出ている。)	サーマルリレーの働いた原因を取除いてから復帰ボタンを押してください。	P-34 図-44
	2.モータコネクタの接続ちがい。	電装ボックス、本機モータの100V/200V 切換コネクタを確認する。	P-11③ 図-5・6
	3.モータ不良。	確認のうえ、不良ならば交換してください。	P-34 図-43
	4.スイッチ・コネクタの接触不良。	点検後、接触をよくしてください。	P-11②
	5.電圧降下。	電力会社へ連絡してください。 100V電源 90V以下使用不能 200V電源 180V以下使用不能	P-10 (1)
	6.粉づまりセンサ作動。	働いた原因を取除いてください。つまった 粉(麦)を取除いてください。	P-22 図-20・22
	7.粉づまりセンサコードが抜けている。 又は途中で切れている。	コネクタをしっかりと差し込む、又はコードの 損傷を直してください。	P-11 図-4
送風機がまわらない。	1.送風レバーが「まわる」になっていない。	送風レバーを「まわる」にしてください。	P-15 絵-6
	2.Vベルトがゆるんだり、切れている。	Vベルトの張りを点検し調整してください。	P-25
循環しない。	1.循環レバーが「まわる」になっていない。	循環レバーを「まわる」にしてください。	P-15 絵-5
	2.ベルトがゆるんだり切れている。	Vベルトの張りを点検し調整してください。	P-25
	3.バルブに異物がかんでロックしている。	バルブを逆転させてください。 直らない場合は穀物を排出して異物を取除 いてください。	P-22 図-23
張込中、または乾燥中に昇降機がつまる。	1.昇降機バケットベルトのゆるみ。	調整してください。	P-26(2)
	2.昇降機駆動Vベルトのゆるみ。	調整してください。(LA(SA)-42)	P-25
	3.上部スクリュ駆動Vベルトのゆるみ。	調整してください。(A-131)	
	4.下部スクリュ駆動Vベルトのゆるみ。	調整してください。(A-45)	
	5.循環中バルブからの落下量が多すぎる。	ご購入先で点検、調整をしてもらってください。	P-22 図-23
	6.バケットがとれている。	とれているところは付け直し、ゆるんだボ ルト・ナットはしっかりとしてください。	P-24
	7.バケットが摩耗して揚穀能力が低下している。	バケットとベルトを一体で交換してください。	図-29

(4)バーナ(熱風器)関係(「失火」ランプ点灯)

故障のようす	原 因	処 置	ページ・図
点火しない。	1. 燃料切れ。	燃料補給。	P-26 図-36
	2. フィルタのつまり。 継手のゆるみ。	フィルタのつまり、吸込パイプのナットのゆるみ等を確認してください。	
	3. 点火スパークがとんでいない。	点火トランスのコネクタの確認。エレクトロードの掃除および間隔(電極間3.6mm)を点検してください。	P-27 図-38
	4. 点火トランスの不良。	点火トランスを交換してください。	P-27 図-39
	5. 電磁ポンプの不良。	電磁ポンプを交換してください。	
	6. バーナ制御基盤の故障。	バーナ制御基板を交換してください。	
乾燥途中で火が消える。	1. 燃料切れ。	燃料補給。	
	2. 各部コネクタの接触不良。	各部コネクタがしっかり差込まれているか確認してください。	P-11 図-4
	3. フィルタのつまり。 継手のゆるみ。	フィルタのつまり、吸込パイプのナットのゆるみ等を確認してください。	P-26 図-36
	4. カーボン(すす)付着。	燃焼器、特にノズル先端、フレイムホルダ部分、炎センサ採光口付近、パイプの中のカーボン(すす)の掃除をしてください。	P-27 図-38
	5. 炎センサのよごれ。	炎センサを抜き、先端部分及びパイプ内のホコリを掃除してください。	
電磁ポンプが作動しない。 (振動がない 燃料が流れない)	1. 風圧スイッチが作動。	風圧スイッチ及びコネクタの差込みを確認してください。 送風レバー及びVベルトのゆるみを確認してください。	P-34 図-43 P-26 図-35 P-34 図-32 P-25
	2. 電磁ポンプの差込プラグの抜け 又は抜けかかり。	コネクタにしっかり差込んでください。	P-27 図-39
	3. 電磁ポンプの不良	電磁ポンプを交換してください。	
	4. 電磁ポンプが新品またはしばらく使用していない時にプランジャがはりついている。	電磁ポンプを軽くたたいてショックをあててください。プランジャのはりつきが直ることがあります。	
電氣的故障でない 場合の電磁ポンプ 吸上不良。 (ポンプに手をふれると振動がある)	1. フィルタの目づまり。	フィルタの洗浄又は交換してください。	P-26 図-36
	2. パイプの継手がゆるみ空気がはいる。	継手部をしっかり締付けてください。	
	3. パイプ内部に空気がたまっている。	点火動作を数回くり返してください。15ページ、一度で点火しなかった場合の項参照	P-15 (注)3

(5)乾燥関係

故障のようす	原 因	処 置	ページ・図
乾燥時間が長くなりすぎる。	1. 熱風温度が低すぎる。	地域の一般的な使用温度と比較して低すぎたら高くしてください。	P-16 表-2
	2. 排気が室内にこもり乾燥機に吸引されている。	換気をしてください。	P-10 図-2
	3. 夜間湿った空気を吸いすぎている。	湿度の高い夜間運転は早目に打ち切り、翌日仕上げるようにしてください。	P-16 表-2 注2
	4. 送風機(吸引)の回転が落ちている。	駆動Vベルトの確認。電圧低下の場合は、電力会社へ連絡。	P-25
	5. 乾燥前の水分が高すぎる。	適期刈取りを励行してください。	P-16表-2注1
	6. 水分計部のシユート(昇降機内部)が詰まっている。	点検窓から掃除してください。	P-22 図-21

(5)乾燥関係

故障のようす	原因	処置	ページ・図
ムラ乾燥になる。	1. 粳の水分が高すぎて乾燥機の内面にはりつく。	少量で乾燥してください。	
	2. フラくず、ゴミ等が多過ぎ乾燥部がつまる。	フラくず、ゴミ等を取り除いてください。(乾燥機内部に入って調べる。)	P-22 図-20
	3. 何らかの原因でバルブがまわらない。	原因を調べて調整してください。異物のかみ込みがないか。(機械内部を調べる。)	P-22 図-23
	4. 乾燥前の粳(麦)の水分差が大きい。	初期水分に3~5%以上も差があるときは別々に乾燥してください。また、水分の高いものは低いものと同じ水分になるまで乾かしてから一緒にしてください。(二段乾燥使用)	別冊 自動水分計 取扱説明書 参照
	5. 枝梗付の粳(麦)が多い。	選別してから張り込んでください。	
	6. 調節ボルトの位置が合っていない。	粳(小麦)の位置になっているか確認してください。	P-18 図-11
過乾燥になる。	1. 水分ムラの多い粳(麦) 2. 未熟粒・青米が多い粳(麦)	水分差の極端に多いとき(3~5%以上の差)は分けて乾燥してください。(二段乾燥)	別冊 自動水分計 取扱説明書 参照
水分過多になる。	1. 水分ムラの多い粳。	水分差の極端に多いときは分けて乾燥してください。"二段乾燥"してください。	
	2. 未熟米が多く、乾燥後水分が戻った。	乾燥後の貯蔵を長期間しないてください。"二段乾燥"してください。	
	3. フラくず等が多く循環不良を起こしている。	フラくず等を取除いて張り込んでください。	
水分が合わない。	1. 穀物特性による差。	コメントパックで調べて差が認められたら水分目盛の調整をします。	P-18 図-14
	2. 検査の水分計と合っていない。	水分目盛の調整をしてください。	
胴割米 砕米 } が多い。	1. 乾燥の前に脱ぶ(皮のむけた米)、半脱ぶが多い。	刈取時期と脱穀機の回転に注意し、半脱ぶ米はなるべく低温でゆっくり乾燥してください。	P-16 表-2 注1
	2. 熱風温度が高すぎる。	張込量と熱風温度に注意してください。	P-16 表-2
	3. 乾燥後の処置が悪い。	乾燥終了後急に冷したり、湿気を当てることはさけてください。	P-19 (2)
	4. 過乾燥。	乾燥中に時々水分を測定してください。タイマと自動水分計のセットを間違わないようにしてください。	P-15
	5. 循環不良。	点検し、調整してください。	P-21 図-23
	6. スクリュ軸が振れ樋に当る。	樋がへこんでいないか確かめてください。回転数が正常か、プーリが規定のものが使用されているか確認してください。	P-25
	7. 少量の粳長時間乾燥した。	最少9袋(280kg)以上で乾燥してください。	P-16表-2注3
	8. 収穫時期が遅れた粳。	ゆっくり乾燥してください。	P-16表-2注1

13. 各部の接続と定格

■モータとセンサ類の接続図

図-43

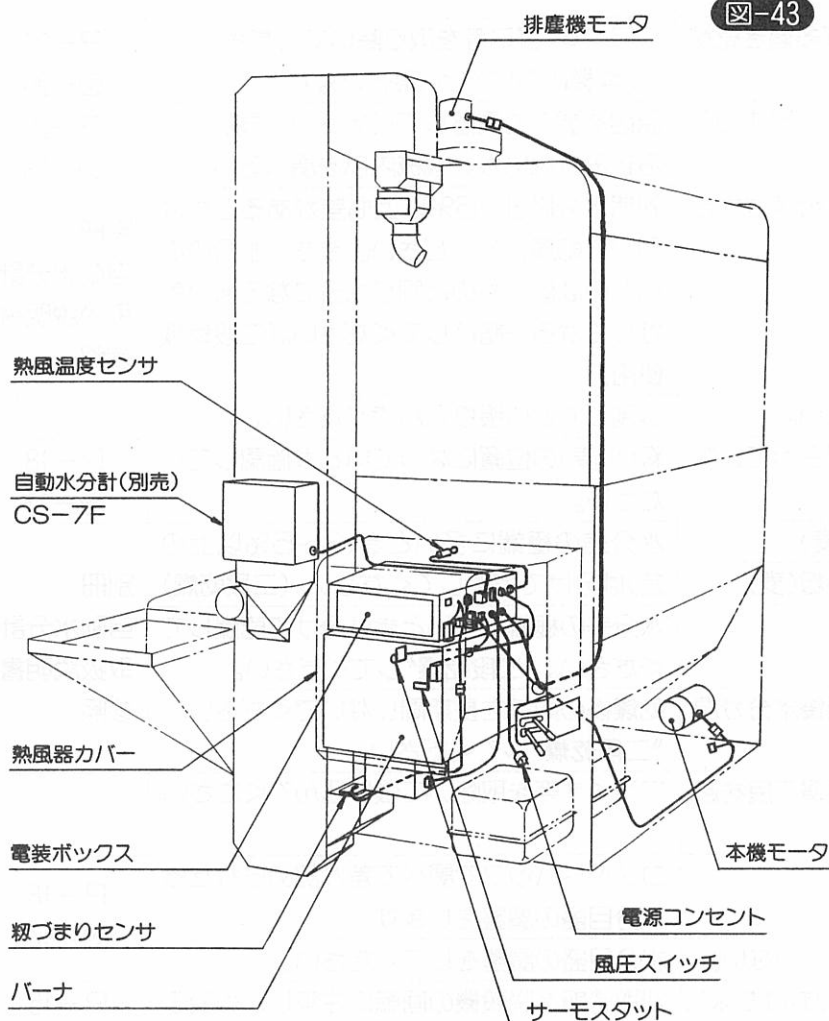


表-6

モータの定格

本機モータ	0.55kW
排塵機モータ	0.06kW

いずれも単相100V/200V兼用

表-7

サーマルリレー電流設定値

50Hz	5.5A
60Hz	5.0A

表-8

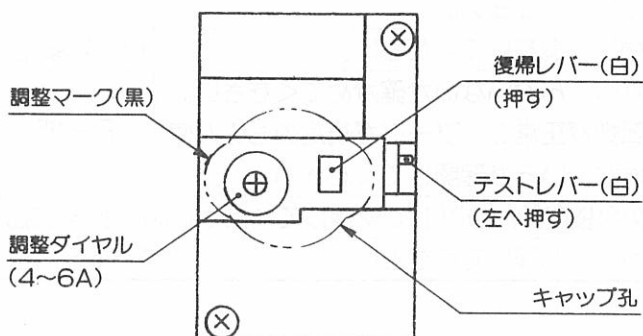
ヒューズ定格

電源ヒューズ	2A・250V
--------	---------

■サーマルリレーの復帰

熱風器カバー上部の点検フタをはずし、中のキャップを取って行います。

図-44

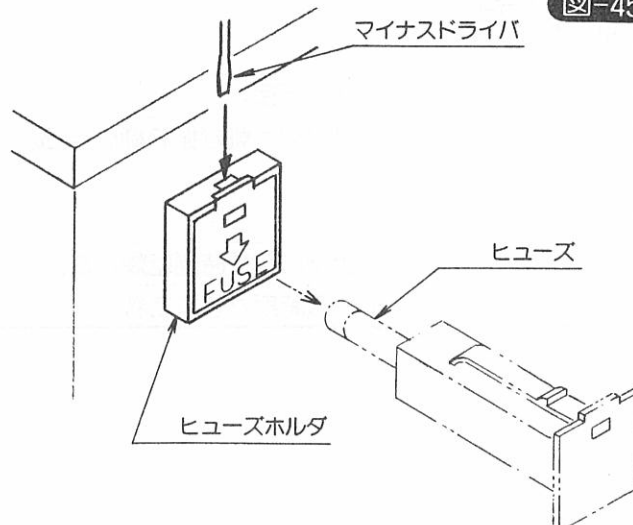


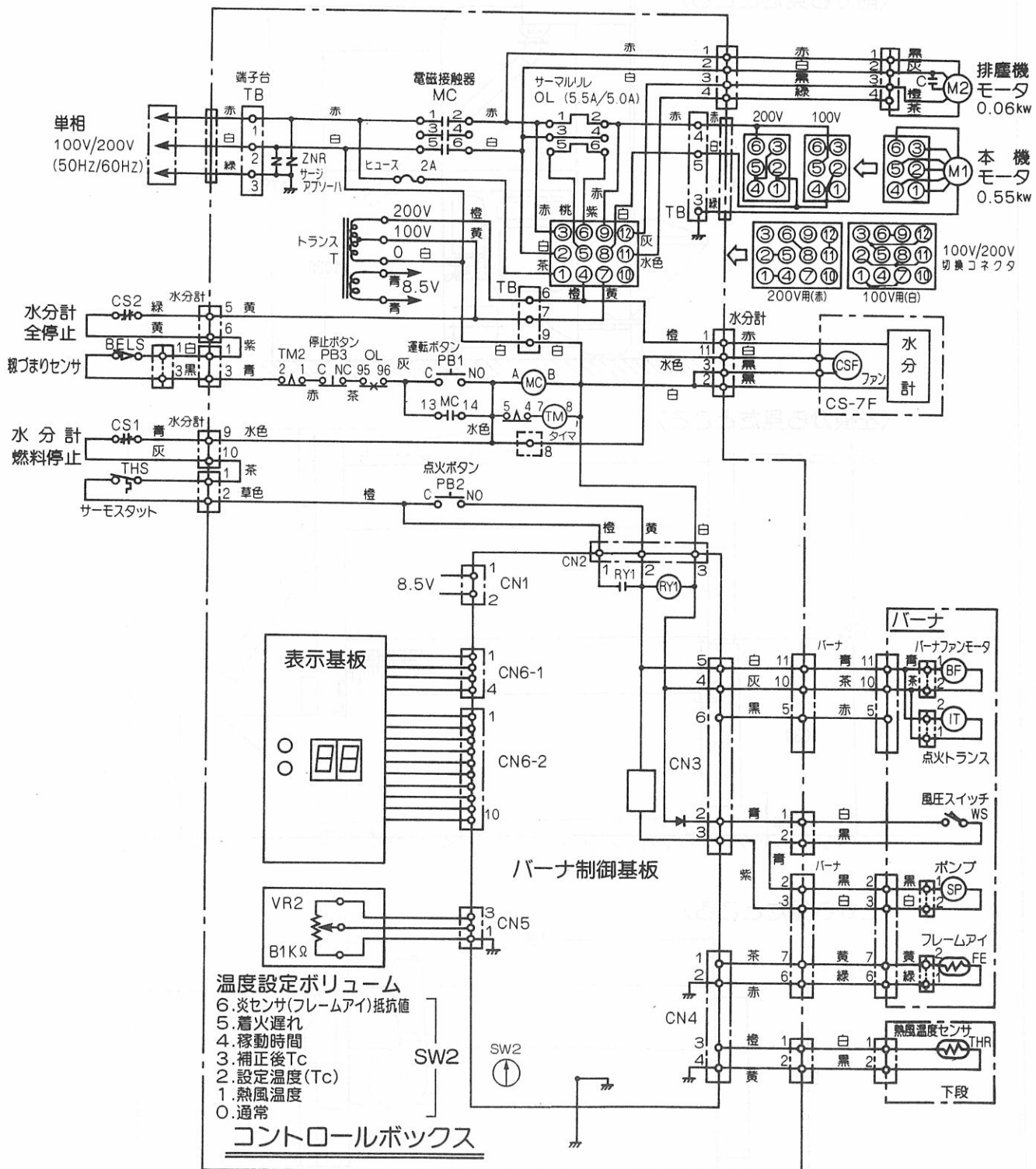
■電源ヒューズの交換

熱風器カバーをはずして行います。

ヒューズホルダの角穴へ小さなマイナスドライバを差し矢印方向に押すとヒューズが出てきます。

図-45





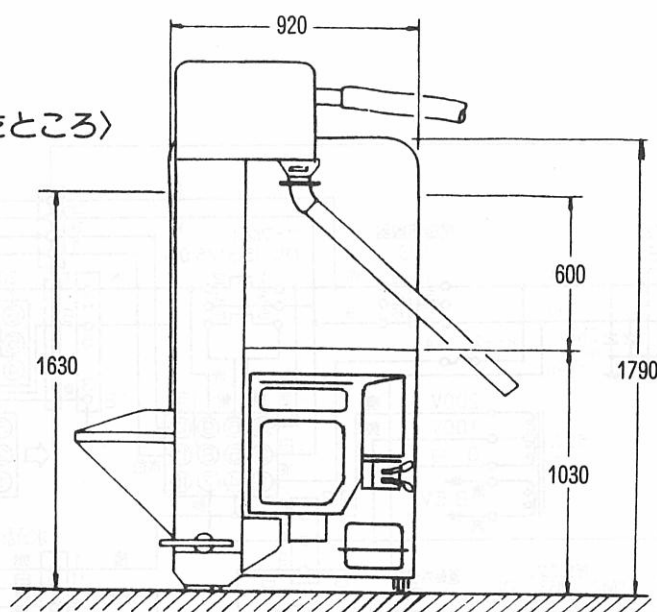
14. 据付寸法図

機体寸法

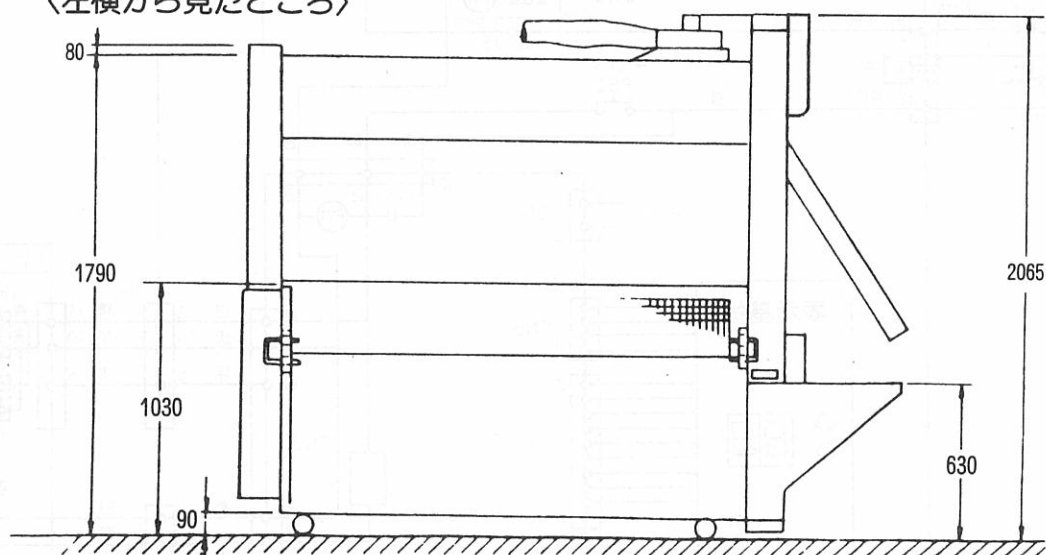
図-47

単位：mm

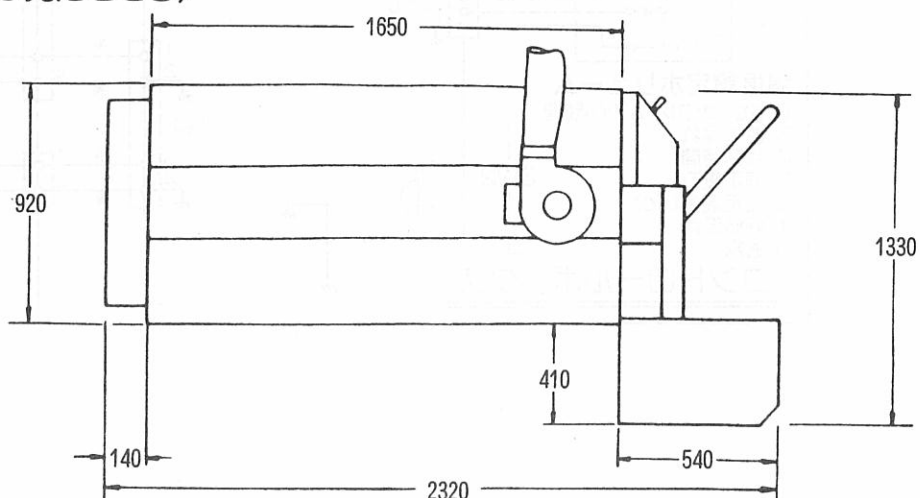
〈前から見たところ〉



〈左横から見たところ〉



〈上から見たところ〉



シヅカ乾燥機 保証書

ご住所	□□□-□□ 電話() -			
フリガナ	-----			
機体番号				
型式名	保証期間	平成	年	月 日
販売店名	電話() -			

■本保証書はお買上店印なき場合は無効となりますので、必ず捺印していただください。

このたびはシズオカ乾燥機をお買上げくださりありがとうございます。
ごじます。

1. 本機は万全の検査を行い高品質を確保しております。お客様の正しい使用状況下で使用中、万一不都合が発生した場合は購入日より満1年間につき無料修理を行います。
2. 次のような場合には保証期間内でも有料となります。
 - (イ)誤ってご使用になった場合、および不当な修理・改装による損傷。
 - (ロ)移動等による輸送上の損傷。
 - (ハ)火災・地震・風水害などの天災及び公害・異常電圧・指定外の使用電源(電圧)。
 - (ニ)保証書のご提示がない場合。
 - (ホ)保証書の所定事項の未記入あるいは、文字を訂正された場合。
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
 - ※修理はお買上げ販売店に必ずこの保証書を提示のうえご依頼ください。
 - ※本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

静岡製機株式会社



■修理履歷控

点検や修理の都度記入してください。

[illegible]

■有料点検履歴控

有料点検は、お取扱店に申し込んでください。

[illegible]

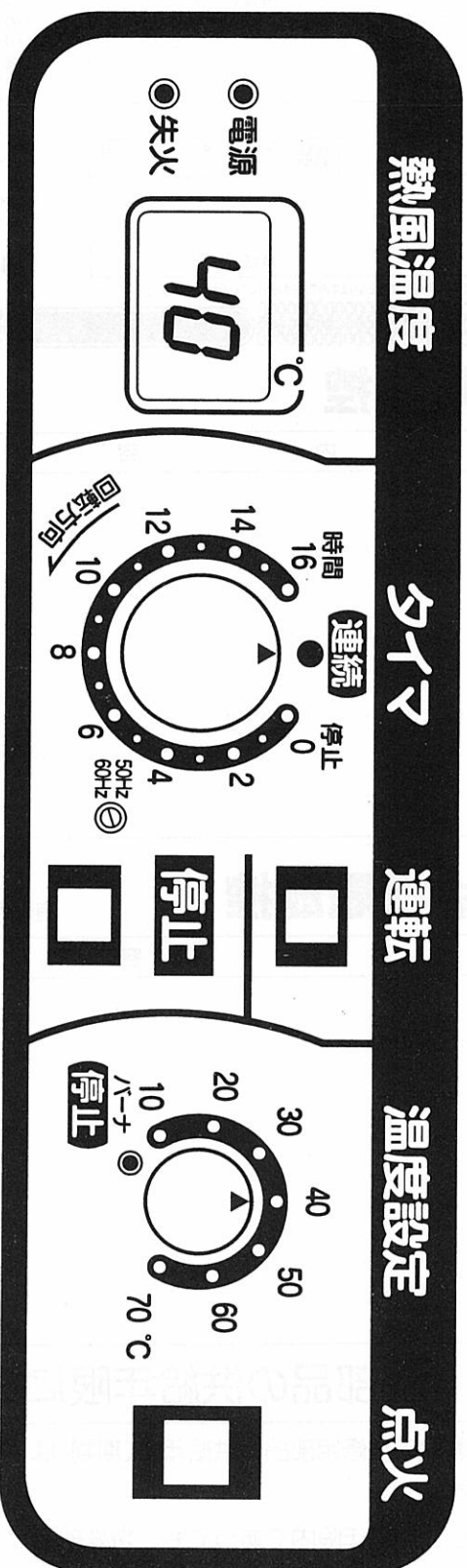
部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後12年といたします。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的に上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

フロントパネル操作盤



※この取扱説明書の仕様は、改良のため予告なく変更する事があります。その場合、内容が多少異なることがありますのでご了承ください。